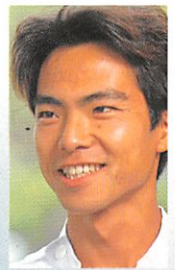


ZOOM UP



1991. No. 75



歯界展望

今春、歯科医学の向上と発展の為に永年貢献された功績により紫綬褒章を受章された。ご本人は「戦後の混沌期にどうしたわけか入ってしまった東京医科歯科大学ですが(笑)、卒業後、これからどうしようか、勉強する気もあまりないし、と迷っていたら、恩人の当時の事務局長から保存の榎垣麟三先生に話をしているから行ってみると云われ、行きましたら、このまま当教室に入れ、と(笑)。その後鈴木賢策先生を初めとして、多くの素晴らしい恩師、友人に恵まれこん日まで来ました。本人は運命のなすまに生まれて来たんですが…、この受章も皆様のお陰です。」とご謙遜されるが、保存学の大家、また歯科医療界の



日本歯科医学会会長
鶴見大学歯学部客員教授
東京医科歯科大学名誉教授

砂田今男

向上のために政府と常に交渉されたご尽力は、皆様方もご存知の筈である。

お生まれは長野県丸子町。お兄様が当校を卒業されていたことから勧められるままに医科歯科大に。大学に昇格後の第一回生である。

現在の歯科医療界に山積する諸問題について「いま抱えているほとんどの問題は保険診療報酬の評価が非常に低いことに関連しています。ある有名な人の治療を30~40分かけてやり、受付で自己負担額が70円ですと云われ、相手が驚いて、歯科の治療は非常に安いですねーとしみじみ云われました。保存・補綴その他の治療も、まともに学問に則った治療をしたら赤字になります。医療過誤の問題も、1日30人、50人とやらねばやって行けないか、あわてふためいてやる。その結果起こるのです。学問に沿った正しい歯科の道が選択

出来ないのが現実なのです。」と現状をキツパリと。また「現在の国民の総医療費は約20兆、今年度は21兆になろうとしています。しかし、歯科はこの内9.9%。いま全国にある歯科大学の付属病院はほとんど赤字ですが、医科は黒字です。どんなに努力してみても黒字にはなりません。技術料の正当な評価がなされなければ、一般臨床家は簡略な治療法に逃げざるを得ません。」と厳しいお話。「しかし、一番大切なのは国民の健康。ただほど高いものはない、という諺がありますが、保険料が安く済むことで、最も迷惑を被るのは患者なのです。国民も皆保険によりその受けるメリットは大きいですが、逆にその裏には大きな矛盾があることを認識すべきだと思うのです。欧米先進国に比較しても我が国の国民一人当たり医療費は最低なのです。真から国民の健康を願うのなら、厚生省もその実体を真剣に考えるべきだと思います。」「先年ある自民党の有力議員に会った時、保険診療報酬改訂の要求を出すならば、学問に則った歯科医療の基礎データをキチッと作成して欲しい、と云われました。前山崎会長は日本の歯科医療をこん日まで発展させた素晴らしい方ですが、今度はその功績の上に中原会長が全国の会員の声、実体を汲み上げ、学問に則った将来展望を作成し実現してくれるものと期待しております。——歯科医師過剰問題につきましては「これも先の保険の問題とつながっていて、多くの患者を治療しなければ成り立っていかない環境下では過剰と云えます。が、しかし、いま国民の総人口は約1億2000万人。総歯科医師数約7万人の内、実際活動されているのは約6万人。この数で割りますと1人当たり2000人という数が出て来ます。今後、国民の定期検診が法制化され国民の歯科保健の充実を目指すとなれば都会地に歯科医が集まっている問題はありますが、将来の学生数の減少も予想され、現在の定員削減の完全実施が大切だと思います。さすがに永年、学問と臨床の双方から冷静に当界を見つめてこられた方だけに説得力がある。

——卒後研修制度については「よく昔の歯科は完成教育だったと云われますが、私はこれは真っ赤なウソだと思いますよ(笑)。大学において他のいかなる学部でも完成教育とは決って云っておりませんし、そんなものはあり得ないのです。逆にそれだから文部省の方に、完成教育ならこれ以上充実させる必要は

ないのではないかと、という口実を与えていたのではないのでしょうか。もし大学だけで、完成教育された歯科医なら、患者を何時までも苦しめるような治療は行われなれないと思います。確かにいまは各分野が細分化され6年間で習得させることは不可能な状態になりましたが、完成教育とは昔からあり得なかったことなのです。生命には直接関係がないことから、歯の治療にはイージーな考え方があって、そうした言葉が出て来たんでしょうが、歯科医は読み方でハカイ(破壊)とも読めますからね、とそれこそ歯に衣をさせぬお話。

——ご専門の保存学については「保存学は現在修復、歯内、歯周の3つに分かれています。その内齲蝕は国民の歯に対しての認識の高まりにより、かなり減少して来ております。問題は歯周病。これは予防と早期治療が大切ですが、人は症状が出なければ自分の歯は健全だと思っています。一昨年厚生省が8020運動を唱え、私が委員会の座長をやりましたが、この大筋は国民の歯に対しての認識、関心を高めるために提唱された運動なのです。私はこれをキチッとやるためには、国民の歯の定期検診を法制化することがまず第一だと思います。地域ごとにこれをやれば歯科医師も多勢必要となりますし。また、そうした場所で口腔内の異常が咬合等を含めて全身の健康にどれだけ影響を及ぼすか、それを教え、指導することが出来ます。こうしたことを私は歯科医は当然ですが、まず全身を管理する医者によく知って貰いたいと思っております。痛ければ抜いてしまえば良いという考え方。これをまず是正させるべきです。」お話しの一つ一つを的確にその問題の基点から解決の方向までを論理だててキチッと話し下さる。

読者の先生方もこれ等のお話しの中から、それだ、とうなづかれた方も多いと思います。まだまだご活躍して欲しい、今年66才になれる教授である。

●略歴

大正13年：長野県に生まれる。

昭和28年：東京医科歯科大学歯学部卒業。

昭和42年：東北大学教授。

昭和52年：東京医科歯科大学教授。

昭和60年：東京医科歯科大学歯学部附属病院長。

平成2年：鶴見大学歯学部客員教授。

昭和51年：厚生省医療関係者審議会歯科医師部会員。

昭和56年：厚生省歯科医師国家試験委員会委員長。

昭和58年：日本歯科保存学会会長。

昭和63年：日本歯科医学会会長。

平成元年：厚生省成人歯科保健対策検討会座長。

平成2年：文部省歯学視学委員。

わが校を語る 九州大学 歯学部

歯学部長
中山宏明



■プロフィール

- 1960 九州大学医学部卒業
- 1960 国立別府病院でインターン
- 1961 九州大学大学院医学研究科(細菌学専攻)
- 1965 九州大学医学部生化学教室助手
- 1969 スタンフォード大学生物学科研究員
- 1973 九州歯科大学生化学教室教授
- 1977 九州大学歯学部口腔細菌学教室教授
- 1991 九州大学歯学部長 現在に至る
専攻 微生物学特に細菌遺伝学及び真菌学

明治36年、京都帝国大学福岡医科大学として設立された日本を代表する伝統校の1つである九州大学は、駅から10分ほどの博多湾にほど近い場所に広大な敷地を有して建っている。北と南と大きくわかれるが、キャンパスの雰囲気は、どこか北大の印象に似ているのは、両大学とも古い歴史を持ちながら、カラッとした風土を背景に持つ環境下のせいではないだろうか、と思う。

お会いした中山歯学部長。微生物学を一筋に勉強されてきた方だけに、無口で固いイメージの先生を想像していたが、大学様、明るくカラッとした印象で、ホッとする。

今年4月歯学部長にご就任。と同時に新入学生を迎え入れ、その第一声を「大学とは自ら学ぶところですが、最初の2年間の教養課程は高校時代と変わりなく、とかく受身の勉強を強いられます。その結果意欲を失う学生も多くありますが、私はそれを自らの姿勢—受動を能動に変化させることによっていくらかでも楽しくできる、例えば講義一つを取っても疑問点や考え方を教官と1対1で討論し合う位の積極性を持つこと、そうすれば内容はむろんですが、お互いの人柄もわかり人生勉強と共に講義そのものも面白くなってきます、と話しました」。また「当大学は医学部と歯学部が密接していますし、教養課程においては中身の違いは全くありません。将来同じ医療界に身を置く者同士にとって、人間的成熟の基盤を共有することは有意義なことです。」とも。

現代の学生をご覧になって「我々は自分の若かった頃を棚にあげて、今の若い者は、と云いますが、私は自分でもあまり真面目な方じゃありませんでしたな(笑)。テニス部に入っていたんですが、勉強ができないことは総て練習の厳しさのせいにして逃げていましたから(笑)。ただ、今は部活に入るより気軽に楽しめる同好会の方が良い、という学生が多くなったみたいですが…。でも部の顧問をしておりますので、コートなどで時々話をしますが、同じ趣味からか平仄(ひょうそく)が合うというのかな、

の我々とほとんど同じですよ」と楽しそうに話される。

お生まれは福岡、育ちは大分市。ご実家は御殿医の時代から10代続いた医者という名門である。大分上野丘高等学校から、ご経歴が示すよう当大の医学部へ。が、臨床家への道を歩まず、微生物学—細菌学者として研究者の道を選ばれた。

細菌学の将来については「歯科における二大疾患はご存知のように、齲蝕と歯周病ですね。齲蝕はもう細菌感染によって起こることは間違いありません。また、歯周疾患も、その本質は細菌に起因することも解明されております。医学界には以前、細菌で起こる病気の時代は終わった、これからはウイルスだ、などと云われた時期がありました。が、ライム病等に見られるように、新しい細菌が次々と発見されています。歯科における最後のツメは細菌学だと思っておりますし、今後も大切なジャンルであることは間違いありません。」とキツパリ。歯科はとかく技術優先に走りがちであったし、それも大切であるが、近年は身体全体から診る歯科学という方向に変化しつつある。外部から物が入る最も大きな入口である口腔ゆえ当たり前であるが、同時に細菌によっても侵入しやすい入口であることは確か。大切な分野と云われる先生のお話はうなづける。

九州大学のPRは如何に？「当大学は研究面で開放的であろうとする雰囲気が昔からありまして、歯学部大学院生も、医学研究科で論文を仕上げようという人が結構多いのです。こうした雰囲気を更に伸ばし、日本の歯学を維持する大学のひとつである自覚を持って、次の世代の教育者・研究者を育てていきたいと願っております。また、「昔からの土壌のせいか、海外との交流も活発で欧米の有名大学や研究所にも毎年留学生を出しておりますし、逆に当大学で学ぶ学生も多く受け入れております。」——その具体的な活動として「当大学では毎年九州大学国際歯科研修コース」と称して、



海外からの研修生を10人余り受け入れ、歯科に関してのあらゆる勉強を各専門家が2ヶ月半にわたって指導する国際協力事業団(JICA)と共催のコースを持っております。東南アジアはもとよりアフリカ、中南米などから、大学の助教授クラスや政府の技官などが来日されますが、こうした国と国との医療を通しての交流は、将来必ずプラスになって行くと思ひますし、ここまで成長した我が国の責任でもあると思うのです。今後もこの活動を大いに発展させて行きたいと思っております。——10代続いた医家のご実家が、先生の代になって閉院されたようですが、振り返っての人生は？「そうですね—(笑)。もともとは理学部を志望していたんですが、父から、まず医学部に進んで、それから基礎学問をやれ、と云われたんです。跡継ぎ云々は全く云いませんでした。私自身も好きな学問をやるのが出来たし、良かったと思っております。また、この校風が私に合っているのか、こうした雰囲気は今後もどんどん伸ばして行きたいし、私自身、歯科医療の発展のためには何でもやる、という気持ちは強いですね。医学部出身の基礎一筋にきた私を歯学部長にする。良かったのか悪かったのか、面白い大学でしょう(笑)」。印象通り丁寧だが、ザックバランなお人柄である。

卒後研修制度の充実度については「ハッキリ云っておおいに改善する余地がありますね。新人の訓練のかかなりの部分を開業医に頼っているのが現状ですし、大学の怠慢と云われても仕方ない一面もあります。短兵急ではなく、地道な努力を続けることによって、よい方向へ持って行くことができると思っています」。

医・歯が一つになって、人間の身体を守り、共に前進して行きたいと願う歯学部長の熱意が伝わってくる。国の重責を担う、柔軟な頭を持つ若きリーダーが近年次々と誕生しているが、ここにも一人頼れる方が、の思いが強い。56才である。

社団法人 青森県歯科医師会

- 会 長：清藤 勇也
- 副 会 長：神馬健太郎
- 副 会 長：立花 義康
- 専務理事：熊谷 徹
- 常務理事：高畑 研佑
- 常務理事：堀内 陽治
- 常務理事：成田 文治
- 常務理事：松山 陽一
- 常務理事：成田 保久
- 常務理事：佐藤 甚弥
- 理 事：船越 良一
- 理 事：山田 芳夫
- 理 事：近藤 悦夫
- 理 事：稲垣 利衛
- 理 事：白井 挺貴
- 理 事：石岡 隆
- 理 事：渡辺 速人
- 理 事：久保田 昉
- 理 事：嶋谷 保寿
- 理 事：仲條 孝氏
- 理 事：鍋谷 聖道
- 理 事：山口 勝弘
- 監 事：相田 治平
- 監 事：桜田 守利
- 監 事：小泉 伸

青森駅より3~4キロ。雪中ではそう思えないが、雪がなくなると急に道路の幅が広く見えるのは気のせいか。とにかく走る車が快適である。県歯会館はそうした幅広い道路の角地に建っている。地上3階建の建物は県歯会館としてはあまり大きくはないが、内部は暖かい雰囲気満ちていた。1階は事務室と会長室、2階は図書室、研修室、3階が大会議室となっている。

役員改選後第一回目の総会が開かれるのに先立ち、今年2期4年目を迎えられた清藤会長、前青森支部会長であられた神馬副会長を初めとして、立花副会長、熊谷専務理事の4名の方々にお集まり頂き、県歯の活躍状況、悩み、将来展望などを多方面に亘って語って頂いた。

清藤：現在県民およそ147万人を会員の歯科医師533名とその他でカバーしておりますが、やはり近年他県同様、急激に歯科医が増えて来ております。意外と思われるかも知れませんが、当県の平均所得は、昨年度の経済企画庁の発表によりますと、全国47都道府県の内46番目、平均所得170万円なのです。こうした状況下で、私達歯科医師は、いかにして会員の質の向上を図りながら、最新の歯科医療を県民の為に施していくか。それが目下最大の悩みでもあります。都会地では、例えばポーセレンや金属プレート等の治療は一般診療で通用していますが、県民の所得の低い地方においては、患者はその金額の負担には耐えられません。一般診療は全体の10%にも満たないのです。私は会員に常々申します。「魅力ある会、メリットのある歯科医師会にして欲しい、とよく注文されるが、地域住民と公平に利益を得よう医療を進めてゆくのが我々の責務であろう」と。医療は日進月歩、新しい技術、材料がどんどん研究開発されているのに、現状の保険制度では住民

会
長／清藤
勇也



にそれを施すことは出来ません。しかし、歯科医師のレベルは後で、その実情を熊谷専務理事がお話しますが、決して低くはありません。現在県下は、9つの支部に分かれて活動しておりますが、ご存知のように青森県は広い地域に村や町が点在していますので、青森市は会員数143人、八戸市は98人と多いのですが、少ない支部は15~20名という歯科医過疎ともいべき状況呈しております。こうした支部も、いかに平等に指導していくか、これが我々の課題だと考えておりますが、現状の予算の中では…。今後の問題点であり議題です。

副
会
長／神馬
健太郎



神馬：私は外部(住民及び行政)と内部(歯科医師)の双方から見た現在の歯科医療の在り方をお話してみたいと思います。いま全国どこでもそうですが、寝たきり老人問題を含め、公的機関における歯科医療の在り方が大きな問題となっております。各地にある保健所も歯科医が常駐していないことから、現状は歯科医師のボランティア活動によって成り立っている、ということです。と同時に歯科衛生士法の改正によって、口腔指導をする衛生士を置くことが出来るようになりましたが、それさえもやっと県内で目鼻がつきそうなのは2~3カ所。これは私達内部だけでは解決出来ません。やはり行政側が真から県民の口腔指導を考え、初めて成り立つものだと思うのです。これに今全力をあげて交渉中です。また、その寝たきり老人治療において大切なのは、患者が有病者であるということ。これは医師会側とのタイアップが重要に



なっています。もともとは救急医療制に始まった活動が、医師の依頼によって私共が協力し、その方向に進んだものですから、当県においては堅い規則や規制を設けることなく、お互いの話し合いの中から非常に上手くいっております。これを徐々に会員全体に今後は波及させていかなければ、と思っております。ただその場合でも行政側の理解がどのように、どこまで可能か。また、これは地方独特の問題でしょうが、一步市外に出れば無歯科医村、地域によっては外国人に頼っている所もありました。こうした現状を都会地と同じ土俵上で考えては、互いの歯車がいつまでたっても噛み合いません。国民全体から県民、更に細部へ、平等に医療行為が行き届くよう、我々歯科医師の現状を含めて考えていかなければいけないと痛切に思っております。

立花：私は日本また県下の学校歯科医会関係の仕事を中心に進めて参りましたので、そのお話しを。

3年前、私は青森県の歯科医療のレベルアップを願って、全国学校歯科保健大会を当県で開催し、その実行委員長を勤めましたが、残念ながらまだまだ青森県はレベルが低かったようです。その原因は皆さん方が云われたように、都市部と過疎地のギャップの差が大き過ぎるからだと思います。それを考える時、やはり行政側との結びつき、協力がどうしても必要なのです。今後は幼稚園から大学ま



副会長／立花 義康

での学校歯科保健から、さらに生涯歯科保健へと拡大して行かなければなりません。その場合でも、行政と歯科医師、その双方が理解を示し、多大な協力してもらわなければ実現は不可能なのです。幸い今回副会長になりましたので、会員の学校歯科保健会への入会、協力を仰ぎ、緻密な計画のもと、まだまだ多い



専務理事／熊谷 徹

県下の児童、学生の歯の健康管理を実行して行きたいと思っております。

熊谷：私は県歯会における研修会の活躍状況を。

当県は先程会長のお話にもありましたように、県民の所得レベルは低いのですが、歯科医師のレベルは活発な勉強会、

研修会等でかなり高いと自負しております。各地で開かれている研修制度も認定されているだけで16グループもあります。中でも、県歯会が年1回開催する全会員研修会は今回で14回目を迎えました。会員の発表内容も年毎に向上しております。原則として外部講師は呼ばず、講演は一般開業医の中から募集して、これはと思う演題を発表してもらいます。実質的で、時には失敗例を含めながら身近の問題を話しますから出席者から好評のようです。その他、台湾高雄市の歯科医師会と姉妹会を結んでおりますので、毎年交互に会員が行き来し発表会を。今年6年目を迎えております。

編集：では最後に、県歯の展望を会長に。

清藤：やはり先に話しましたように、広い地域でそれぞれの事情が異なるものですが、なかなか一括するのは難しいのですが、私達の役目は、会員が歯科医師会に入って良かったと思う方向に。一方県民が口腔衛生は会にまかせれば安心だ、という気持ちを持つように。今後も歯科医師は増えると思いますし、県民の歯科に対する要望も多岐になってくると思いますが、色々な未来を想像しながら、実情をふまえた、やりがいのある職業への確立を全員で努力して参りたいと願っております。



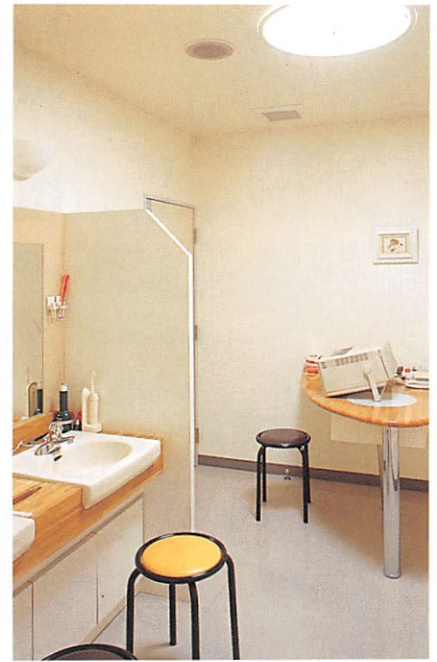


庄山歯科医院

福岡県山門郡瀬高町大字上庄1164

院長 庄山昭彦





九州自動車道・八女(やめ)ICで降り、農家、郊外住宅が点在する道を15分程走ると、突然といった感じで大きな建物が目にとまる。ご紹介の庄山歯科医院である。

前面から側面にかけて17~18台は可能と思われる広い駐車場。建物エクステリアは、玄関両サイドに外壁を作り、下面には低い植木、上部は建物・外壁間に白い井桁の枠が組まれている。入口は左右に薄いブルーの太い円筒状の柱と、田園風景の中でひととき目立つ見事な設計である。

待合室は薄茶のジュータン、天井、壁は白。一角に低い段差をつけて、6帖ほどの畳室がお年寄りや小児向けに設けられている。

受付は横長のオープンスタイル。照明も大型円形灯とダウンライトの2形式を使用。窓枠は玄関ドアも含めて総て黒。思い切ったインテリアであるが、若さと落ち着きの双方が上手くミックスされ、しっとりとした中にも斬新な雰囲気を感じさせている。

診療室に入ってまた驚く。曲線状に作られた前面は総て素通しガラス。周囲の景色が一望に見渡せ、ワイドスクリーンを見ているようだ。アイボリーと薄緑のくすマイリーZ 5台が並ぶユニット背面のキャビネットも室内に合わせ曲線状に。柔らかさと開放感。座っているだけで気分が良くなりそうな診療室である。

院長は福岡歯科大学を卒業後、大牟田にあ

る辻歯科クリニックで3年間勤務医生活を送り、平成元年、ここ生まれ故郷にもどって開業。5月で丸2年を迎えたばかりの若き院長であるが、お話ぶりもゆっくりと落ち着いているのが信頼を呼ぶのであろう、患者数も多い。

Q：気持ちの良い、素晴らしい診療室ですね。

院長：お陰様で設計士にも恵まれてまして、皆さん気持ちが良いと云ってくれます。私の希望は、昔の歯医者さんは、小じんまりしていて暗い雰囲気というイメージが強かったものですから、とにかく明るく、と云うことでした。ユニット配列については、セパレート方式にはしたくないが、その場合でも隣の患者さん同士が気にならないように、ということで、ユニットを少しづつ斜めに設置しました。

Q：ご購入は？

院長：土地は父が以前買っていただいた所を。約280坪あります。建物は私がオール借金で(笑)、約60坪あります。父が肥料・飼料の会社をやっておりますので、その信用でやっとなり借りられました(笑)。

Q：お父様のあとは？

院長：1人っ子ですので跡継ぎは全くおりません。父も初めは私が歯科医になることに迷ったらしいんですが…。まだ若いし、その時は…諦めてみたいですね(笑)。でも開業にあたって、友人、知人を紹介

してくれたり…。ハイ！感謝しております。

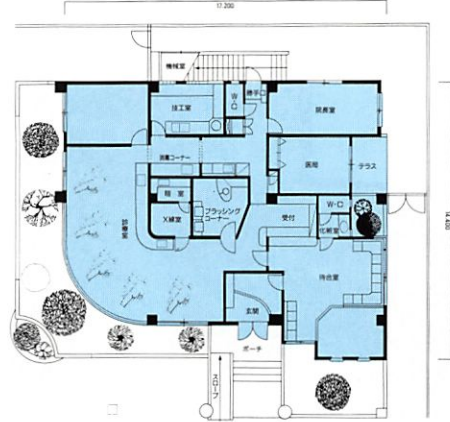
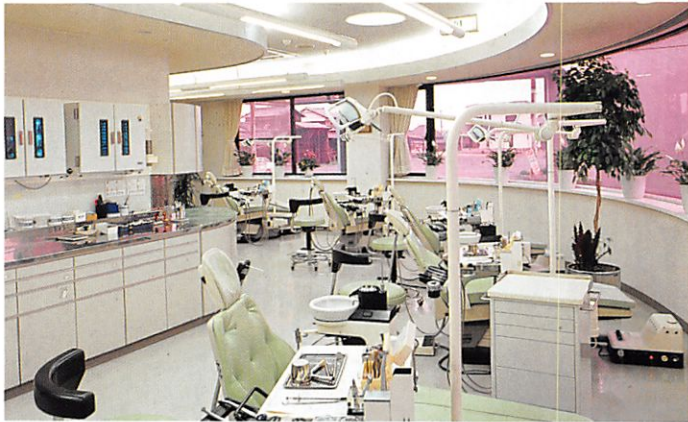
Q：経営は順調ですか？

院長：勤めていた辻先生から、これからの開業は厳しいよ、と云われていまして…。いま身をもって味わっております。診療生活と医院の経営。初代ですので、私が雰囲気づくりを含め、総てを作り出さねばなりませんし、その反応も即返って来るわけですから、良くも悪くも怖いですね。でも、患者数はお陰様で開業3~4ヵ月目位から、1日50人程度になり、そのままずっと来ておりますから、順調に行っている方だと思っております。

Q：歯科医を志された動機は？

院長：高2の頃だったかな。お父さんが外科医の友達の家遊びに行ったんですよ。そこでお父さんが息子に「インターン時代に私が診ていた患者が亡くなった。その時家族と共に私も涙が止まらなかった。年をとって、今はあの頃の心が薄れかけているが、もし医者になりたいのなら、そうした純粋な気持ちを何時迄も忘れてはいけない」という話をしたんです。傍らにいた私も感動しましてね。医者が無理なら、と歯科医になりましたが、その話が今でも頭に残っています。

Q：いいお話ですね。ところでスタッフ教育については？



院長：スタッフにも、医療はお金のサービスは出来ませんから、その分メンタル的なサービスを、と話し、私自身も含めそのように心掛けています。自分が他の医院に行った時どんなところが嫌で、どんなところが良かったかを思い出して欲しい。来院者には皆で挨拶、帰りには心からお大事に、と云う言葉を忘れないこと等ですね。それと開業時に、私も初めてですから、皆さんもいっしょにこの医院を作っていく、そういう気持ちで働いて欲しいと云いました。お宅のスタッフの方は気持ち良いですね、と他から云われた時は、自分が誉められたことよりうれしかったですね。今スタッフは受付2名、衛生士4名、助手1名、技工士1名ですが、良いスタッフに恵まれました。

Q：この辺りも歯科医師過剰ですか？

院長：柳川市、山門郡と合わせ人口11万強に50軒位ですが、市の中心部に多く、この辺りはちょっとはずれておりますから…。昔と違って、今は車社会ですから、かえって郊外での診療の方が患者さんには便利そうですね。

Q：将来は？

院長：まだ始めたばかりですので、とにかくあの医院なら安心という気持ちを浸透させることと、私自身の勉強を、という気持ちだけで精一杯ですが。理想と現実—

今の時代は患者さんの意識も、もちろん技術は当たり前ですが、精神的なものをより求める時代になりましたので、じっくり友人感覚で話し、説明することが大切なのではないでしょうか。それと経営面での現実、このギャップを如何に埋めていくか。これがこれからの課題ですね(笑)。

Q：オサダの〈スマイリーZ〉。いかがですか？

院長：待合室から診療室に入って、ユニットは左側に並んでおります。その為左サイドから座ることが出来る〈スマイリーZ〉が、ドクターが動く必要もなく最も良かったので決めました。オサダについては、

勤務医時代に使っていて、使いやすかったし、アフター面もしっかりしておりましたので、開業時の機械はオサダだと決めていました。

Q：最後に友人、知人に何かコメントがありましたら…。

院長：そろそろ同級生が開業する頃ですが…。私は一歩先に開業しましたので、開業までのプロセスや問題点など、何か私でお役に立つことがありそうでしたら、ぜひ一報下さい。卒後はお互いに忙しく、なかなか同窓会も開けませんが、なるべく早い時期に会いたいですね。身体に気をつけて頑張ってください。





坂本歯科クリニック

埼玉県入間市寺竹770-4

院長 坂本嘉久





東京・八王子より八高線に乗り換え、緑濃い丘陵地をおよそ35分。古い映画のワンシーンを観るような可愛い駅舎。その金子駅から静かな住宅地を5～6分走ると、グリーンとブルーの地に白スキ文字の「坂本歯科クリニック」「坂本クリニック」の2つの看板が目止まる。グリーンはご紹介の歯科クリニック、ブルーはお兄様が経営される内科・小児科である。院長のお話によると、バスを利用すれば西武線に出られ、新宿にも僅か1時間の距離とのこと。そういえば周りの丘陵地もどんどん拓かれ、新しい住宅集落が出来つつあるのが目に入る。数年後にはマンションや郊外住宅が密集する町へと様相を一変していくことであろう。前面は14～15台は駐車可能と思われる広い駐車場。向って右側のドアは内科のお兄様。左から入り、階段を上った2階部を歯科医院が使用されている。

待合室の床はアイボリー、天井・壁は白。受付前面部と待合用椅子は濃茶で白いイメージの中、アクセントをつけている。室の一角にはジュタンを敷き小さな子供専用の待合コーナーが設けられている。

診療室は広い室内の中央にスマイリー〈フラインS型〉2台、L型1台が設置され、窓からは茶畑、野原、更には対面の丘陵地に建つ色とりどりの住宅が望まれる。静かでゆったり、素晴らしい医院環境である。

院長は昭和58年日本大学松戸歯学部を卒

業。その後7年、同大麻酔科にて研究生生活を送り、昨年9月退職。翌月生まれ故郷である当地に、先述のお兄様と共に開業の第一歩を踏み出された。

Q：麻酔科に7年と云われますと、臨床のご経験はわりと少ない、と感じますが…。

院長：いや、夜間診療をやっている医院等ではけっこうアルバイトをやっておりましたので、治療には慣れていましたよ。ただ開業にあたって必要な情報等はあまり入って来ませんでしたので、その点の不安はありましたね。でも当市には日大卒の先生が多いので、会への入会やその他色々アドバイスを頂けて助かりました。

Q：開業後9ヵ月あまり、運営は順調ですか？

院長：1日平均30～35名位の患者数ですので、友人の話では順調だと云われるんですが(笑)、フルタイムで勤務した経験がないので、自分ではよくわかりません(笑)。ただ土地柄からか繁閑の差が烈しく、閑な時はガラガラ、混めば地獄(笑)と思うように来院者があります。夜も7時迄ですが、顔見知りの近くの方や痛いと言う方が来院されれば断るわけにもいきませんし…。もう少し平均化されれば、と思っているんです。

Q：この辺りの歯科医院軒数は？

院長：横に長い町ですが、東西約4キロ位に

2軒、人口当りでは余り多くないのではと思います。

Q：広い土地に、ゆったりとした診療室。ご自分で？

院長：いいえ、土地は亡くなった父から兄が相続。建物も兄が建てたのを私が借りております。内装、ユニット等はもちろん私の借金ですが(笑)。

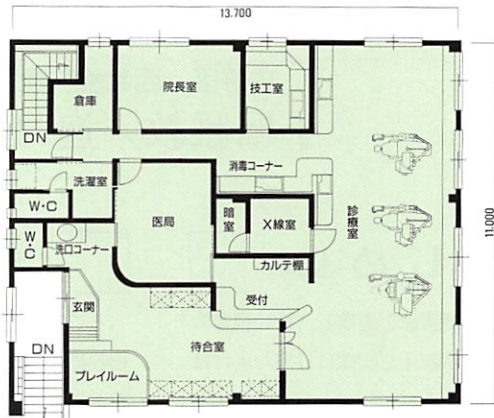
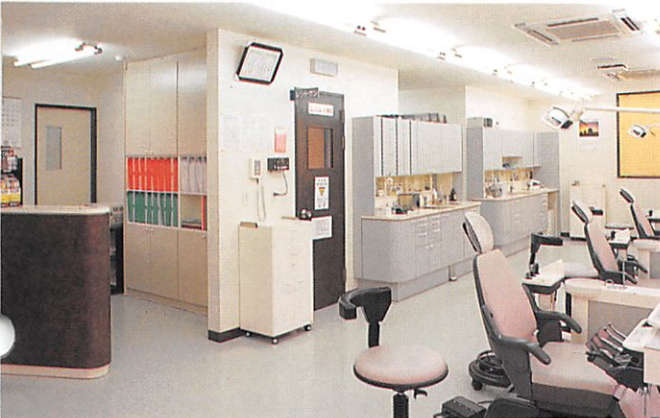
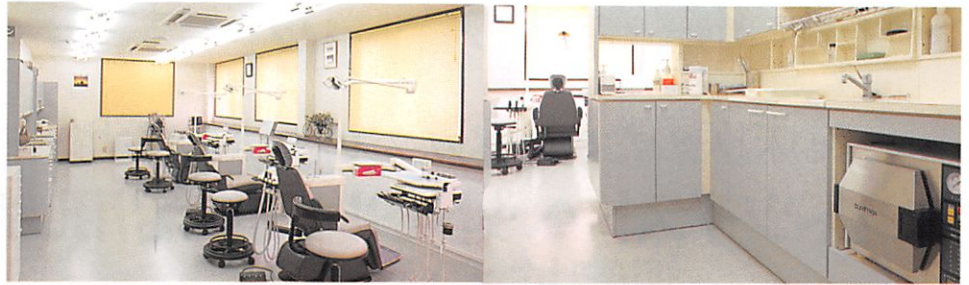
Q：保険と一般、どちらが多いですか？

院長：ほとんど総て保険です。でも現在の保険制度の在り方にはちょっと疑問を感じますね。決められた保険内で材料その他総てを治療しますと、必ずまた再治療をしなければならなくなります。そうすれば国は、また保険料を支払わなければなりません。予算が苦しいと云いますが、その方がもっと大変です。国は臨床の現場をもっと把握してもらいたいし…、矛盾を感じますね。

Q：開業されての感想は？

院長：大学時代とは全く違った苦勞ですね。自分でやれば制約は少ないが、その変り責任がグッと重くなります。前に云いましたように治療での苦勞はありませんが、保険の計算やスタッフの問題等、いわば裏方の仕事には今でも頭を抱えています(笑)。

Q：診療室を作られるにあたってどんな所を。また、ベビーサークルが診療室内に



置かれておりますが、若夫婦が多い土地では喜ばれるでしょうね。

院長：ええ、赤ちゃん連れのお母さんが多いものですから、その場合どうするか、と置いてみました。空いている場合は、お年寄りの方が荷物を置いたり、多目的に使われております。全体の雰囲気はやはり明るく、モノトーンをベースに木目を活かした室内にしました。間仕切りは総ての患者に目が届くよう、初めから考えませんでした。ユニット配置は、この辺はまだまだ家が建つ可能性がありますので、将来のことを考え、配管は5台分してあります。それと車椅子使用者のために、階段を広く取り、また入って来た場合も診療室にそのまま入れるよう、ドアを両開きにし、ユニット脇まで来れるようスペースも確保しました。

Q：スマイリー〈ファイン〉、S型とL型の両方をご使用されておりますが、いかがですか？

院長：L型は入れ歯中心の方。特にお年寄りには喜ばれますね。S型は一般の水平診療の方々に使っております。ファインは初めて使いましたが、特にスイッチ回りが使いやすいですね。デザインはもう最高ですよ(笑)。

Q：スタッフ構成は？

院長：衛生士1人に助手3人と私です。夜が

遅いので、2交代制にして、常時2～3人が入れ替って勤めております。

Q：将来は？

院長：まだ開業したばかりですので、具体的には考えておりませんが…。高齢化社会に入りますので、下(内科)とタイアップしながら、他に疾患部を持つ患者さんでも安心して治療出来る医院にしたい、と思っております。今は難しい面もありますが、麻酔科に長年おりましたので、その知識を活かせたら、と思っております。

Q：ご趣味は？

院長：読書、特に中国の歴史が好きで色々な本を読みあさっています。それと機械い

じり、コンピューターの画面に向かってアレコレ考えたり、操作することが好きですね。ストレス発散はドライブ。車が混んでいてもハンドルを握っているだけでたのしくなるんですよ(笑)。

Q：最後に、全国の友人、知人にコメントをどうぞ。

院長：遅ればせながら開業しました。院長とは名ばかりで、実際には、診療よりも裏方のほうが多い「黒子」のようなものですが、大学時代に覚えたOAを活用して励んでいます。これから、もっと忙しくなるとは思いますが、治療の質を落とさぬように頑張ります。





小島 哲先生

の巻

横浜市南区別所中里台40-9

新装なった全国でも有数の歯科保健医療センターを擁する横浜市歯科医師会の一室。

市歯科医師会の専務理事として、今年で5期9年目を迎えた小島 哲先生を、前広島市歯科医師会会長荒谷和明先生のリレーにより訪問いたしました。

話題は当然その方向に「横浜市は人口330万人、歯科医師会員数1400人と、全国の都道府県レベルで言っても共に11番目にあたる大都市になりました。9年前岡田会長の命を受け「歯科医師として地域社会に貢献し、信頼感を確立する為に全力で努力」、その基礎から具体的方向まで作り上げるようにと、センターの設立にあたりました。ご存知のようにここ10年救急診療を皮切りに、心身障害児者に対する世界的な支援、それに続く寝たきり老人を初めとする要介護者に対する福祉・医療両面にわたる施策等社会的ニーズに応えることが私達の組織としての使命になりました」。良く透る声、歯切れの良さ、さすがは専務理事、いや歯医者さんである。「こうしたことがその時々、困難はあったもののほぼ予定通りに進んで来ましたが、横浜市の行政の理解と信頼が大きな要素になっています」。

お生まれは東京。ご本人は、私は戦後の焼跡の子ですよ、と笑われるが、豊島師範(現・学芸大学)附属小学校から開成中学、高校を経て東京医科歯科大に。優秀な生徒であったことは確かである。その医科歯科で当時講師をされていたのが、先生にリレーされた荒谷先生である。「縁とは不思議なものです。卒後のおつきあいはほとんどなかったんですが、私か政令都市の歯科医師会の役員連絡協議会メンバーとして出席した15年前、偶然、再びお目にかかりました。以来、毎年1回ですが、お会いする度に先輩として指導を

受けたり、ご協力を頂いたりして今日に至っております。信頼関係とは凄いものですねー。その信頼関係の大切さが、この先生のライフワークとも言える地域住民への歯科医療の中にも生きて来る。再び「このセンターの事業ですが、休日に加えて、夜間診療を365日行っているのは全国ではめずらしいのではないのでしょうか。昭和62年の10月から始めて既に4年近くなりますが、市から大変感謝されております。次いで心身障害児者診療ですが、これも質量共に拡充し、特に心に障害のある方々を対象にした成果が定着してきました。地元で鶴見大学、横浜市大とありますので、2次・3次医療機関としての機能も確立してきております。明年秋運営を開始する生涯福祉医療総合センターにおける3次医療にリンクさせて、ここで体系の完成を期する一歩が踏み出されます。行政、会、大学、



3者が一体となっ、ていま着々と地域歯科医療事業が推進されておりますが、執行部の1人として、こうしたことの成就是わがことよりうれしいですね。開業医としてご自身の診療所も運営して行かねばならないだろうに…。しかし、こうした先生がおられるからこそ、いま歯科医療界に立ちはだかっている大きな諸問題も徐々に国民のコンセンサスを得られ氷解して行くというものであろう。

「会員の方達にも話すのですが、ここでのそうした方々への医療がやがて自院での診療を発展させて行くと。専門的な知識を得、研究を重ね、現場を踏むことから新たな成果が生まれてきます。また、このセンターが需要を掘りおこして会員の医業としての環を2次的に狙っていることも、当初からセンターの目的とし、セットされているのです。地域社会に貢献することによって、会員自身に

も大きなメリットが返って来るわけです」。横浜は日本の歯科医療の発祥の地。東京都横浜市といわれる位、環境も住民意識も都と同一化されつつあるが、ここに来てMM(港みらい)21世紀と称する大都市計画によって街全体が大きく羽撃こうとしている。こうした動きに連動して、当界も新しい歯科医師像を創造して行きたいと熱心に語る。「私の医院でさえも20年近く前までは整理券を出すほど患者さんがおりましたが、オイルショックを境にして、徐々に減り始めました。これは歯科医師の過剰だけではなく、歯科医療の質



が進歩したことにも原因があります。これは国民医療にとっては良い方向であることは間違いありません。その中で我々が執行を預っている者は、住民と会員の相互の利益の間に立っていか、に事業を進めていくか。これが大きな使命の一つでしょう。「日本では医学と医療の乖離が大き過ぎます。今の医療制度はその歪みの具体的な現れであるといえます。これでは国民医療の将来は楽観できません。特に国の歯科医療行政は貧困で意識に欠陥があると思えません。歴史的に不毛な経過の上でこうした現症があるのでしょうか。いままでの考え方を全部くつがえす位ドラスチックな改革が必要です。どこまでも、歯科医師と地域住民、国民への奉仕を一途に考え、情熱的に語り続ける小島先生。同じ歯科医療界に身を置くものにとって、頼もしいかぎりである。

地域歯科事情

社団法人 葛飾区歯科医師会

会 長：加藤勝成
副 会 長：川本黄石
副 会 長：渡辺和夫
専務理事：塚本 亨
常務理事：根岸哲夫
常務理事：臼井 潔
常務理事：小松孝至



固定診療、訪問診療の2通りの歯科診療を実施する理想的な“葛飾方式”とは？

亀有駅から青戸方面に向かって環状7号線を徒歩で7～8分。道路に沿って新装成ったばかりの白い3階建のビルが目止まる。地域住民、特に障害を持つ寝たきり高齢者を主体に歯科医療を行う診療所“たんぼば歯科診療所”である。

1階室内は診療室で、ユニット3台、寝たままでも全顎レントゲンが撮影出来る特別仕様のX線室と受付。2階は広い医局員室と会議場、補綴研修室。3階は30余人が同時に受講出来る大研修室となっている。単にこれだけの室を設けるだけなら、他の歯科医師会館と変わらないが、ここでの医療システムは、1F～3Fまで総てA.Vシステムで結ばれ、各階での治療行為、研修内容が、全館どこにいても、スイッチひとつでTV画面、また設置されたスクリーンに映し出され、全景、手元、口腔内が自由に見られることである。

何らかの方法で通院が可能な患者に備えた当施設での診療を固定診療方式、通院不可能でスタッフが器具を持参し診療する場合は、訪問診療方式と呼び、全国の歯科医師会から“葛飾方式”として羨ましがられている。まさに21世紀の歯科医療方式である。

また、当会ではこのほか“障害児専用歯科診療所”をここより車で5～6分の区歯科医師会館1階に設置して10年余。当館の建設にあたって、その実績が区民と行政の双方から支持されたと聞く。

だがここまでの道程は皆様ご承知のように決して平坦な道ではなかったようだ。その辺りのご苦労話を交えながら、内情を会長以下推進功労者の方々に語って頂いた。

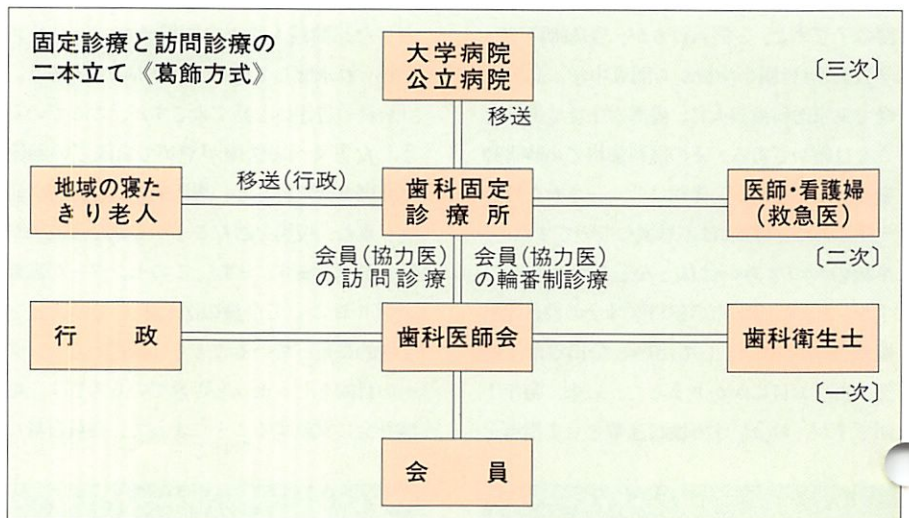
加藤：当施設は先代の田中会長及び役員の方々が立案し、行政側に強く働きかけ、その実情を区が理解してくれたものを私達が実現したのです。これだけの土地、建物は単に私達歯科医師会のみでは出来上る筈もありません。高齢者社会を迎えるにあたって、世間の気運とそれを理解して頂いた会員と行政の熱心な活動の努力が実を結んだものです。葛飾方式と皆さんが呼んでくれています。この2通りの診療方式が現在抱える寝たきり老人歯科医療には欠かせません。今後、当施設での診療経験が若い先生方にとって大学では学ぶことが出来ない研修の場となり、それが歯科医療界全体のレベルアップにつながっていくのであれば、願っております。



塚本：当施設は、都有地に建物8億7千万、A.Vシステムだけで6千万円近い費用がかかっております。行政側がここまで理解

を示してくれましたのは、やはり10年余りの障害児診療の実績を認めてくれたことにあると思います。良否は別にして、いまだ社会的にも貢献のあった人が障害を起こし、車椅子で治療を受けに行っても、泣き叫ぶ子供達と一緒に神経的にも参ってしまいます。医療に差別をつけるわけではありませんが、こうした老人は今後増えるでしょうし、その方達の心もまた大切なのではないのでしょうか。ただこれだけの費用を歯科医師会の活動に捻出してくれたのですから、中途半端な気持ちでは出来ません。仏つくって魂入れずではやめた方がいいですね。

川本：現在239名の会員のうち6割近くの方が輪番制で診療にあたりております。報酬は休日診療手当に準ずる費用を委託事業費の中から。また患者さんからの保険収入は全てプール、主に材料や設備機器・機材に使っております。こうした活動は会員のボランティアのみでは決して長続きしません。





個々に迷惑をかけないだけでなく、それ以上のメリット——例えば自院では手に負えない患者、学ぶことが出来ないテクニック、先輩の意見や互いの検討会等、この施設に来ることによって得られるものが大きいこと。そうした活用が更に大きくこの事業を伸ばしていくと思っております。

渡辺: 若い先生方はそうでしょうが、私達も初めは寝たきり老人治療には自信がありませんでした。ここでの治療が自身の治療に前向きとなって現れ、それがテクニックの向上や、また患者さんとのトラブル等がなくなれば一石二鳥です。衛生士さんもここでの介補が普段と違った経験を持つと同時に、私達は高齢者・区民に貢献しているという誇りにつながっていければ素晴らしいですね。

根岸: “1人の専門家より10人の経験者を作ろう”という障害児歯科診療事業開始当時のモットーで、会員には1人でも多く参加してもらおう、ということで初めから推進して来ましたが、お陰様で区民、会員共評判

が良くホッとしています。現在2台ある診療車も搬送機器の関係から治療内容にも限度がありますし、都会地では交通渋滞も烈しい。そうした諸問題も、この固定診療所があることによって解決されます。今後も搬送中に起こる問題はこうしたら良いか等、机上では計り知れないことが起こって参りますので、一步一步研究、実現して行きたいと思っております。

臼井: 寝たきり老人の歯科治療はとかくリスクを伴うことから、先行スタートした訪問診療のみではかなり難しいと思っておりましたが、慎重に対処し、特に問題の無いまま昨年8月固定診療所が開設されました。ここに於ける診療を中心とし、訪問診療の利点を発揮させながら、その欠点を固定診療所でカバーし、また、医師会、技工士会の強い協力も得、スタッフの努力により当初予想していたこと以上の歯科治療が行え、大変意義を感じています。機器材料の選定については委員会に於いて何度も検討し、寝たきり老人に適したものの、あるい

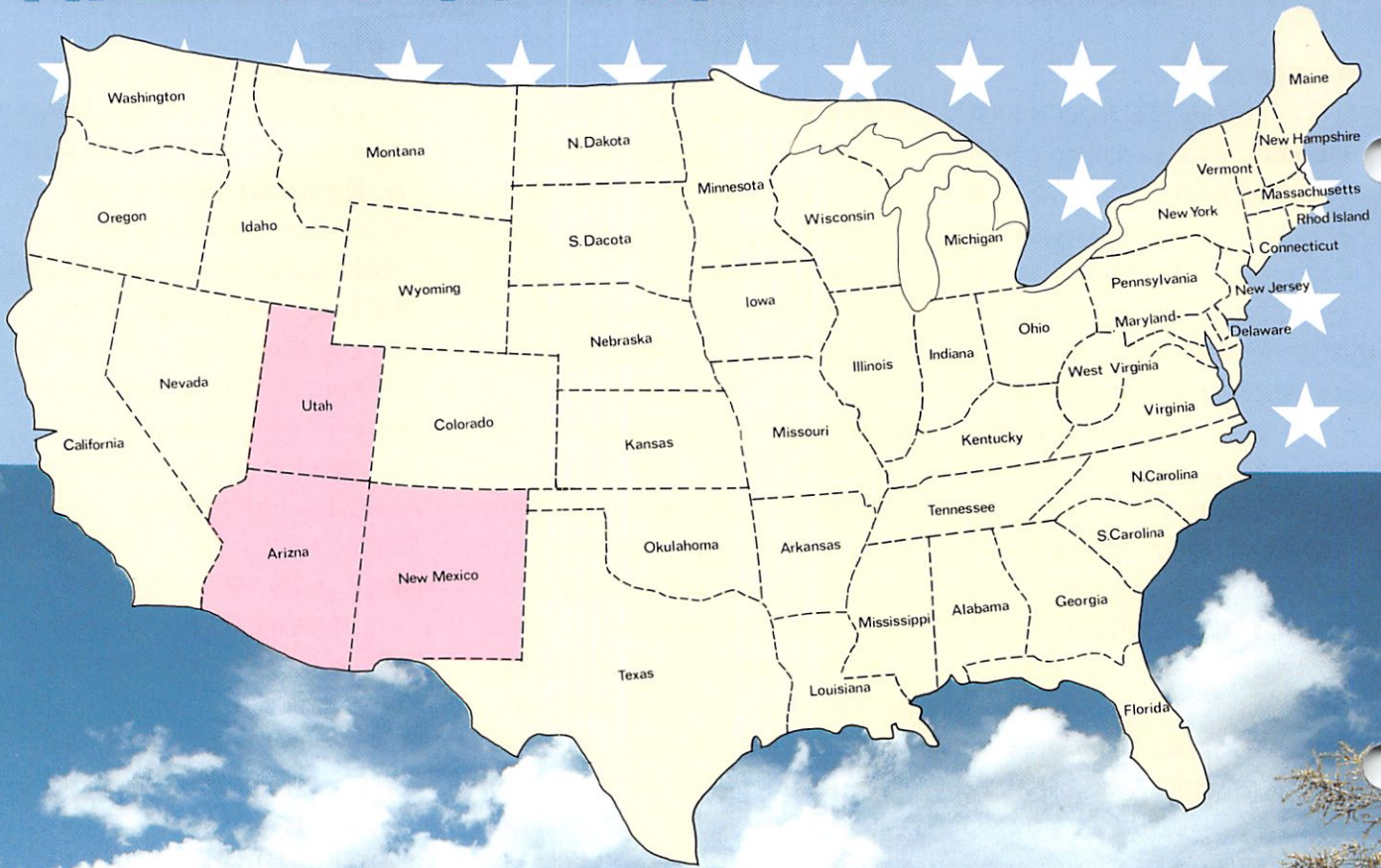
は今回専用に考案された器材も多々あり、現在有効に活用しています。特に訪問診療におけるオサダのポータブルユニットは枕元で使用するには大変便利で清潔さもあり、特注品のバキュームと共に何時も有効に使用していますが、エナックが訪問で使用できるので、除石及び根治に大変重宝しています。始めてみて感じた事は、準備期間中予測していた以上に、歯科治療内容全般にわたって患者さんへの必要性があり、固定診療所をベースとした訪問診療の方式がその対応に不可欠であったとつくづく感じております。

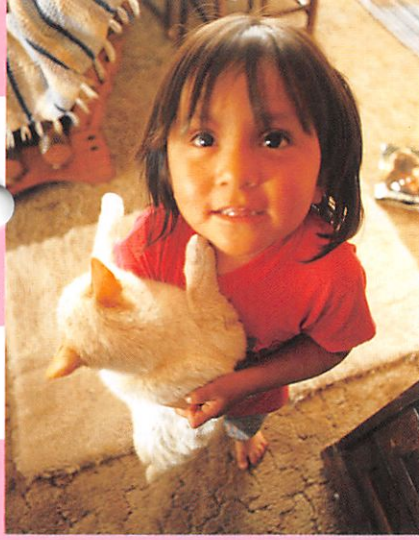
小松: とにかく安全第一ということをもっと、会長をはじめ上部の方は行政側と接渉を、私達は寝たきり老人の口腔内の所見や実体を3年間にわたって調べました。全国でも良いといわれるこのシステムを更に他方面から研究・検討し、先輩の方が築いたこの体制をこれから巣立って来る若い方達と共に住民に奉仕して行きたいと思っております。



海外だより

Native American — Indian — 「ネイティブ・アメリカン (インディアン)」の 衛生の心得を探って—(その1)





日本はどうか知らないが、アメリカでは近年インディアンに関する話題が増えてきた。インディアン保護居住地の経済問題がニュースになるかと思うと、これ迄とアングルの異なるインディアンの取り上げ方をした映画「ダンシング・ウィズ・ウルブス」が好評でアカデミー賞をとったりする。そういえば、あのスカッとした青空のブルーのターコイズ石と銀が特徴のインディアン・ジュエリーが流行ってきた模様だし、「今年はインディアンの年」といったコメントも耳に入ってくる。

それから伝わってくるのは、これはインディアン文化のリバイバルという社会現象が発生しつつあるらしいということだ。アメリカという坩堝の世界で各少数民族やグループが、自己に関する機会平等を求めて奔走する感強い近年、インディアンだけは未だに片隅に押しやられたままで黙々とした存在という印象が絶対的なのにこれは一体どうしたことだろう？

考えれば考える程、インディアン文化見直

し傾向と、近年の米国に於ける健康指向、そして「自然に戻ろう」思考過程に密接な関係があるように思えてならなくなった。

人生の半分以上をアメリカで過ごしながら、私は未だにハリウッド映画を通してしかインディアンのことを知らない。「ネイティブ・アメリカン」でありながら、アメリカ社会の片隅に押しやられて黙々と生きてきたこの人達は、今どのような暮らしをしているのだろうか？ 何を生き甲斐としているのだろうか？ どんなものを常食としているのだろうか？ この人達の健康衛生意識はどういったものだろうか？

それらを知りたくなった私は、1週間の予定でニュー・メキシコに飛んだ。1週間という時間を組んだのは、簡単にいかない取材という予感があったからだが、この予感的中した。私がぶつかった文化は、神話（といっても差し支えないと思うが）に始まり今も基本的にその先祖の伝統が脈打つ文化の別世界だったからである。





色の粘土で塗られており、銀行も図書館もガス・ステーションも一寸見分けがつかない程である。「プエブロ」はインディアン、「テリトリアル」はスペインで、加えてアングロ（それ以外）の3つの文化が共存する都市である。創立は、首都では全米最古で1610年。ちなみに100年程後1706年に設置されたアルバカーキーは、サンタ・フェと異なり成長するのが好きな都市らしく、今では人口46万5,000人で、ニュー・メキシコ最大の都市となっている。

当然のことながら、サンタ・フェにはアーティストが多い。6,000人位ここに住んでいるという。その他多いのはフォトグラファー、建築家、ミュージシャン、ライター達である。全米から1万人のインディアンが参加するインディアン市、スペイン市、ロデオが大々的に開催されるほか、年中各種のアート展や伝統工芸展の催しがあるので、観光客やバイヤーで賑わっている。ハリウッドから800マイルということ、近年映画俳優たちも此処に拠点をかまえる人が増えているようだ。

その他のサンタ・フェの特徴は、大変なヘルス指向である。街やレストランでタバコを喫う人の姿を見かけるのは稀で、道路にも吸殻は見当たらない。今回の取材で私はあちこち飛び回って60人程の色々な人と会ったのだが、なんと喫煙者にはただの1人もお目にかからなかった。それで部屋の澄んだ空気を感じてはと気がひけて、私もタバコを控えるハメとなり、帰NYした時点では、その気になれば禁煙にふみ切れるほどになっていた。

この周辺に全米一鍼治療所が多いのは、この人達の健康指向の強さと、インディアンの病に対するアプローチからくる影響を物語っていると思う。南西部の漢方薬専門の店や治療所も多く、中には500種の薬草を取扱っているところもあった。

「ザ・ピープル」

インディアンのコミュニケーションは簡潔で、また我々からみると抽象的だ。目の前の山は「この山」で、あっちの山は「あの山」。あっちの山の方に行くと、さっき「あの山」と呼んだのが「この山」、さっきの「この山」

ニュー・メキシコ

ニュー・メキシコを選んだのは、インディアン居住地や集落の大部分が米国の南西部にあることと、「ナバホ・ネーション」と呼ばれるナバホ族居住地を取材する為だった。この居住地はアリゾナ、ニュー・メキシコ、ユタの3州にまたがるもので、サイズとしてはウエスト・バージニア州と同じ位のスケールである。

ニュー・メキシコは1912年にアメリカ合衆国の47番目の州となったが、それ迄は単に合衆国の領土という資格だった。メキシコ戦争の結果、1848年の条約で米国はメキシコに1,500万ドル支払ってニュー・メキシコ、アリゾナ、カリフォルニアを米領土としている。

人口（およそ50万人）は37位だが、サイズでは5番目に大きい州で、デラウェア、メイン、マサチューセッツ、ニュー・ハンプシャー、ニュー・ジャージー、ロードアイランド、ニューヨークの各州がすっぽり入ってしまう。

その雄大極まる自然の美、文化の多様性、生・植物・動物類の豊さに、「ザ・ランド・オブ・エンチャンテッド（恍惚の土地）」というあだ名がある。州の首都サンタ・フェは海拔7,000フィートの高地にあり、サイズ（人口約55,000人）からいっても雰囲気からみても、首都というよりギャラリーの街という感じだ。ほぼ150のギャラリーが軒並みで、アメリカで第3位のアート市場といわれる。首都のくせに芸術にばかり気をとられ、近代化を拒む雰囲気がたまたようサンタ・フェの宛名が「ザ・シティ・ディファレント（変わった都市）」となっているのは面白い。

サンタ・フェの建物は、市の規定で屋上にまるみのある「プエブロ」か、屋上が角ばっている「テリトリアル」しか建てられず、高さも3階迄と限られているようだ。テラコタ



Santa Fe(通り全部が画廊)



郵便箱



Mc Gees Gallery



Native American —Indian—

「ネイティブ・アメリカン(インディアン)」の衛生の心得を探って—

は「あの山」となる。それで彼らは自分達のことを「ザ・ピープル」と呼ぶ。

考古学者は、米南西部の各インディアン族をまとめて「アナサジ(古代の人達)」と呼び、侵略者のスペイン人達は「村の人々」と呼んだ。

今回の取材の私の苦労は、まずこのスペイン語で村という意味の「プエブロ」という言葉の理解から始まった。サンタ・フェの家屋を指して「プエブロ」という時は、先に述べた如く屋上の角が丸くなっているスタイルを指す。「プエブロ・インディアン」と初めて聞いた時はプエブロ族のことかと思ったが、種族に関係ない集落生活様式のインディアンを指し、「ピースフル・ファーマー」の意味が込められていると判明。

現在ニュー・メキシコには19のプエブロがあり、5種のインディアン語が使われる多様な社会構成が存在する。それぞれの部族が特技とする伝統工芸があり、たとえばプエブロ・インディアンはポタリー(壺などの焼物)、ナバホ族は織物、ズーニ族は銀細工、ホピ族は——、となる。ラグ織物を得意とするナバホ族が編んだバスケットは水が洩れないが、アパッチ族のバスケットは編み方が荒いので水洩れする。アパッチはもともと狩人で、戦士で、今でも喧嘩ばやくて忙しく動きまわるから——というのが編み方が荒くなる理由だろう。

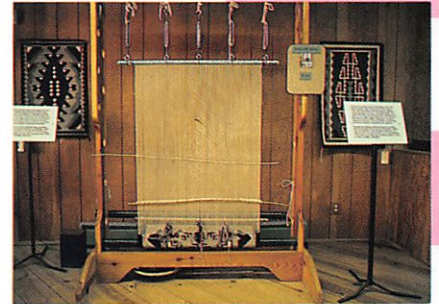
インディアン部族中、ナバホ族の人口が最大で、「ナバホ・ネーション」居住地に15万人住んでいる。部族委員会に依る自治体統治で、米州政府管轄外であると教えられた。たとえばハイウェイのサインひとつにしても、合衆国のサインは見当たらない。事件があっても、インディアンを逮捕出来るのはナバホの警官と規定されており、それ以外の警官は問題を起こした人間をナバホのポリス・ステーションに連行するにとどまる。

サンタ・フェからセスナ機で1時間強のギャラップは、インディアン・ジュエリーとビジネスのメッカで、この周辺100平方マイルに33のインディアン部族が住んでいるという。近くにズーニ族の村があり大変繁盛しているそうだが、残念ながら訪れる時間が無か

った。全米のズーニ族の人口は7,500人から8,800人位で、そのほぼ半分がこの地帯に住んでいるといわれる。ズーニ族はみなが銀細工師といえるほど銀細工に長けており、その気になれば何時でもお金を作れる——つまり収入がある、と聞いた。他の部族より経済的に豊かであるのはその為だが、この私には何故、それなら他の部族ももっと銀細工で収入を増やそうとしないのか、ということが判らなくて残念。編むことも、織ることも、描くことも、けずることも、粘ることも、すべて手を使ってのクリエイティブ創作活動だから、その気になれば分野の切替えはそれ程難しいこととは思われないのだが——。

居住地には代理銀行というか、面白い金融システムが存在する。「質屋(ポーン・ショップ)」で、それもスーパーやストアの中に在り大きな看板を堂々と出している。インディアンにとって質屋は便利な一種の銀行にすぎず、我々社会にある暗いイメージは全くない。ちょっと遠出をする時のガソリン代をひねり出す時などに、身につけたジュエリーをはずして質草とする。だからインディアンにとってジュエリーは、現金と同じ感覚らしい。

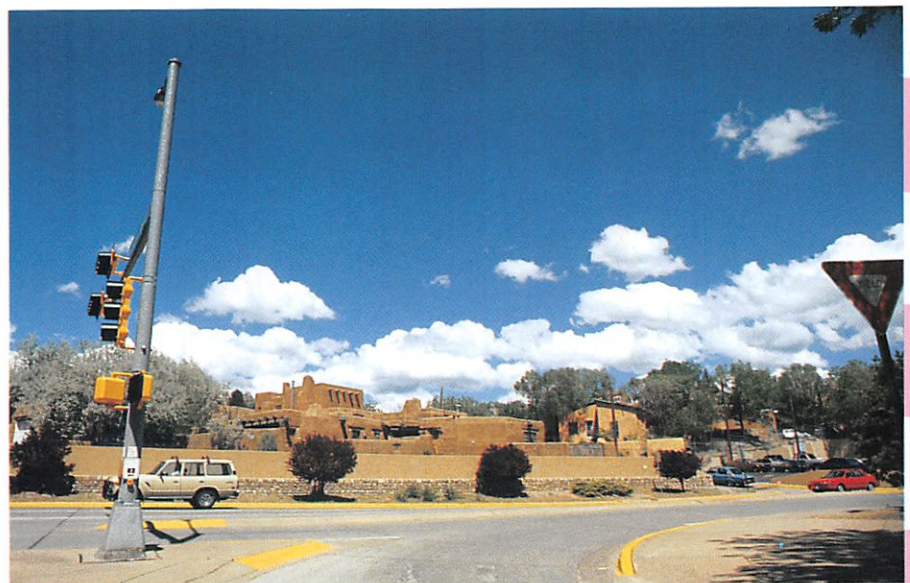
質草をしまっている部屋を見せて貰って驚いた。ジュエリーのみならず、ブランケット、馬のサドル、鉄砲類がずらりて、メディスンマン(まじない師)が身につける狐か何かの毛皮迄ある。これは必ず尻尾がついてなけれ



Navajo Rug(手織)



プエブロ



海外だより

Native American —Indian—

「ネイティブ・アメリカン(インディアン)」の衛生の心得を探って——



スーパーのPawn Shopで質流れ品を吟味



質流れ(ブレスレットが\$250〔4万円〕位)



Pawn Shop=質屋(スーパーの中等に存在)



ばいけいしないそうだが、その理由を聞き出す機会に恵まれずまことに残念。毛皮の下の段には、これまたメディスン用の団扇がずらり。

質流れは全く少なく、5%位という。どうも質屋というより品物預かり所といった気分である。猟のシーズンでない時、鉄砲など家に置いておくより此処に預けておいた方がずっと安全だし、その上預け賃まで貰えるのだから全く面白い仕組みだ。

ズーニ・ウエルネス・センター

私がギャラップを訪れた理由は、全米最大のズーニ・ウエルネス・センターを見学し、ズーニ族の健康管理について取材する為だった。私が住むアメリカの白人社会のインディアンについての認識は、酔っぱらいが多い、そしてやる気が無い怠け者、といったものが多い。生活を略奪されて、以後社会的にマイノリティーとしての差別待遇を余儀なくされれば、やる気も無くなるだろうし、お酒に憂さをまぎらしたくもなろうというものだ。

それでこのウエルネス・センターを訪ねた時、アル中問題の話なども出るかと期待していたが出ずに終わった。というのは、全米のインディアン社会からモデル・ケースとして注目されているこのズーニ・ウエルネス・センターのアプローチは、総合的・基本的心身の健康づくりだったからである。「病は気から」

といった格言があるが、総体的健康づくりで病の元を取りさり防ぐやり方である。

話はアシスタント・ディレクターのリアトリス・ピントーさんから聞いた。若いキビキビした女性で、早口でよどみなくしゃべる。全米のみならず、海外からも講演の申込みがあるという。

このセンターは、米連邦政府予算で運営されているズーニ・パブリック・ヘルス・サービス(PHS)の1部で、PHSの予算で運営され、この地帯に住む8,000人のズーニ族にサービスを提供している。先にズーニ人口は全米で7,500から8,800人と書いたが、このセンターの数字の方が事実に近いと思われる。今回の取材の苦勞のひとつは、具体的情報の少なさ、また確認の難しさであった。

ピントーさんの話では、このウエルネス・センターは1987年に草の根運動で始まったという。近年インディアン社会で急激に増加してきているのは糖尿病と高血圧だそうだ。その何よりの原因は、「ジャンク・フード！」とピントーさんは笑った。

今から20年程前の居住地には、電気も水もひかれておらず、水源から遠いところのインディアンはトラックで運ばれてくるポップ(缶入りソーダやコーク類)を水がわりに飲んでいたのである。今のような冷やしたのと違い、生ぬるいものや時には熱くなったポップはさぞかしまずかったことと思われる。常食は野菜、果物、木の実、鳥や魚、そして兎や鹿といった油気の少ない肉類だった。それが今や経済状態が良くなったお陰で、一般アメリカ人と同様の食餌、つまりハンバーガー、ポーク・チョップ、ステーキ、フレンチフライ——に変わってきてしまった。結果的に現代病が急増傾向となったということであり、肥満型も増えている。

カロリーの高いものを食べ、以前より働くことが少なくなった結果である。「自分で畠を耕して人参を育てるより、ストアで買った方が簡単で楽ですからねえ」とピントーさんは溜息をつく。

彼女のオフィスの黒板に、「このスペース(体)に私達は毎日居住している。時に依って

は体の健康から始めた方が容易である」と書かれているのが目に入った。

センターのウェルネス・プログラムは、食物の栄養やカロリーについての教育と、エクササイズを中心に組まれている。動機づけと、途中で投げ出さず長期間継続するよう考えられたプログラムである。

たとえば、ポイント制8週間プログラムというのがあり、参加者は「ヘルシイ・ヒューマン」(週に8ポイント)、「スーパー・ヒューマン」(週に15ポイント)、または「ビヨンド・ヒューマン」(週に25ポイント)のひとつを自分の目標として選ぶ。8週間中の7週間、毎週最低8か15か25ポイントに当たる運動量をこなさねばその人の選んだ目標は達成出来ない仕組みとなっている。運動に依る得点は表の通りである。

このプログラムは、自分のスケジュールと体調と好みによって何時でも気軽に実施出来るので人気があり、316人が現在参加して得点かせぎに励んでいる。

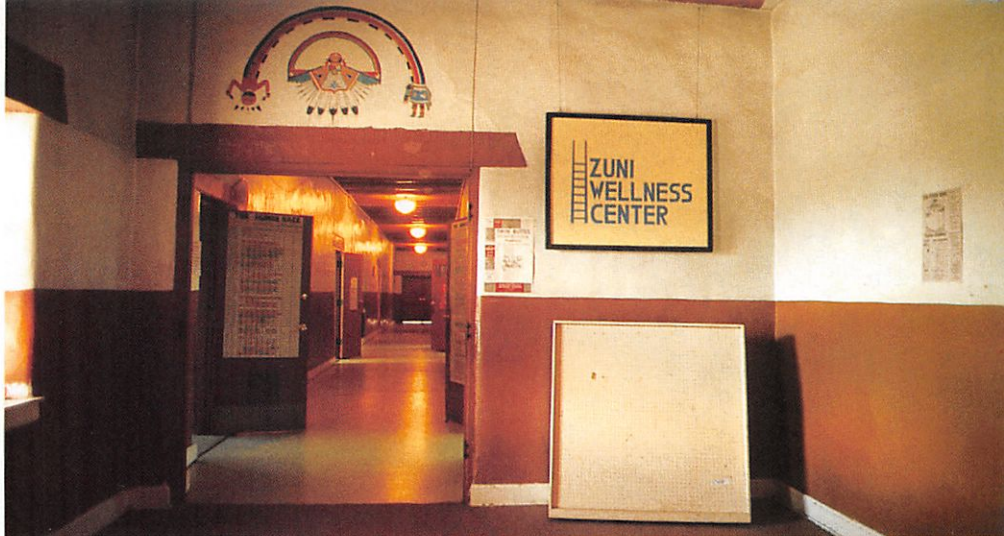
糖尿病はなかなか深刻な問題のようで、この病気の為目が見えなくなった患者や足を切断することになった患者も存在する。ポイン

表. ポイント制8週間プログラム

運 動	1ポイント	2ポイント	3ポイント
走る/歩く	1マイル	2マイル	3マイル
エアロビクス/バスケットボール/トレッドミル/サッカー/テニス/カントリー・スキー/ハンドボール/ローイング/トランポリン/ナウトピ/階段上り/自転車エクササイズ/タキギ割り	20分	40分	60分
アウトドア・バイシクリング	4マイル	8マイル	12マイル
スイミング(水泳)	$\frac{1}{4}$ マイル	$\frac{1}{2}$ マイル	$\frac{3}{4}$ マイル
Downhillスキー/ゴルフ/Vigorous ダンシング/Basic Weight-Training	1時間	2時間	3時間
バレーボール/ソフトボール	2時間	4時間	8時間
Wheeling (Manual Wheel-Chain)	1マイル	2マイル	4マイル

ト制運動プログラムの中に車椅子に依る運動も入っているのは、そういう体の不自由な人も参加出来るようにとの考慮からである。

参加者は、運動をした日や時間その他の記録をつけ、毎週月曜日にコーディネーターに

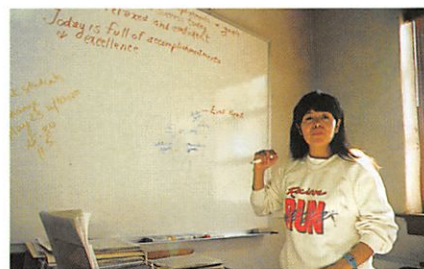


ズーニ・ウェルネス・センター

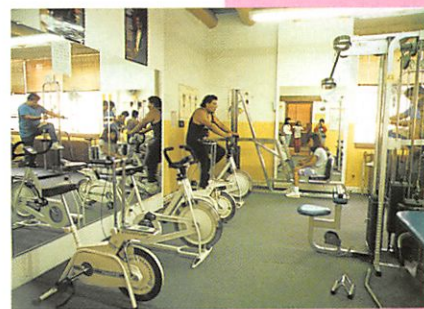
その記録を提出、8週間後、目標達成をなし遂げた参加者にはTシャツが贈られる仕組みとなっている。

食餌やカロリーに関する教育資料も多く出されており、数種貰って読んでみたら、具体的に分かり易く書かれているので感心した。この地方のズーニ族の大人の30%が糖尿病にかかっているという情報には驚いた。資料に依ると、ハイ・ブラッドシュガーと診断される20年前に既に糖尿病は始まる、とあり、だから「糖分の多いポップは止めて、マザー・ネーチュアから私達の体への贈り物である澄んだ水を飲みましょう」と書かれている。

20年前迄、電気も水も無い居住地で、水のかわりにポップを飲まされていたそのつけが、今まわってきているのだなど、心か痛む次第である。(以下次号)

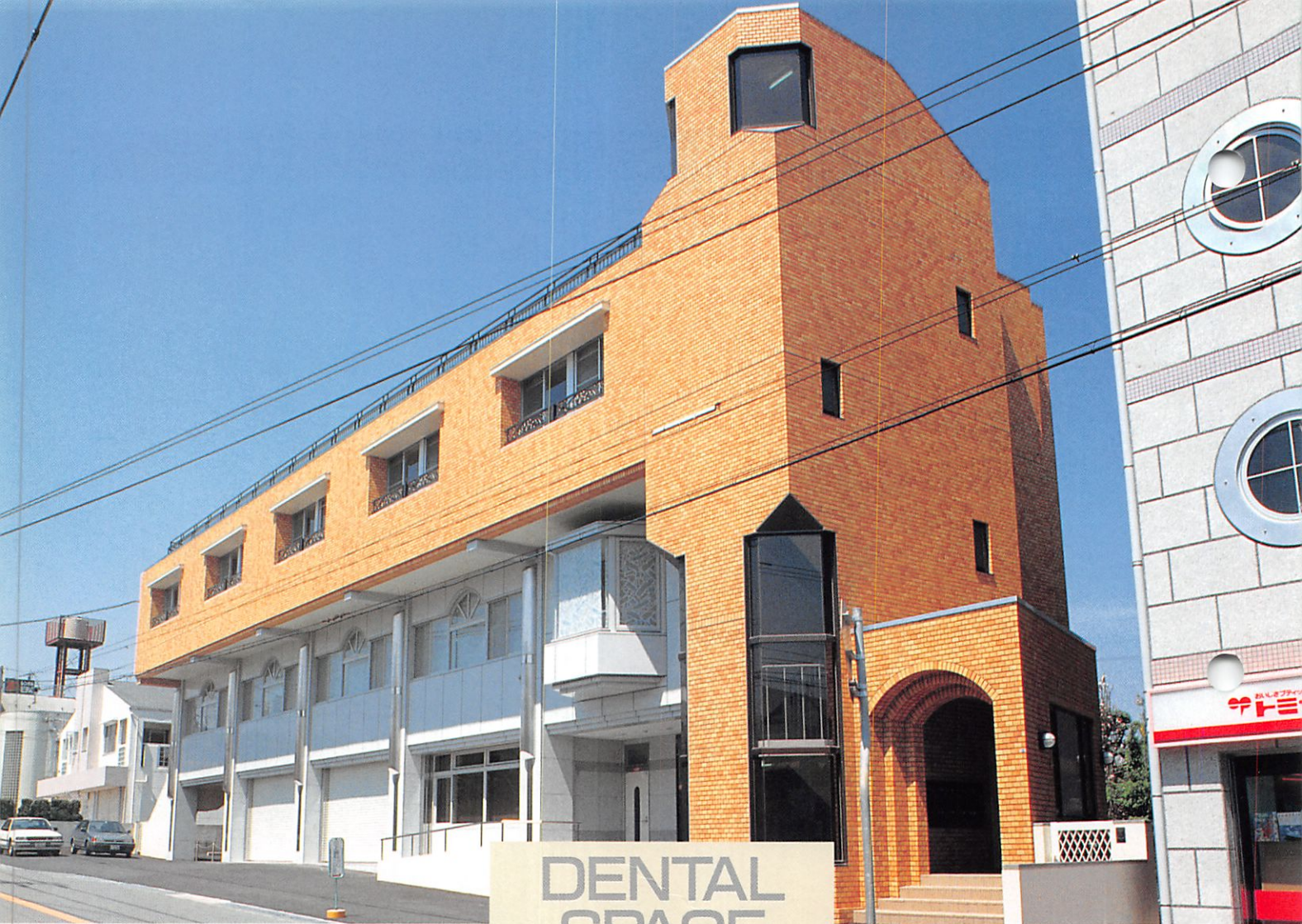


Leatrice Pinto



筆者紹介
岩本蘭子

ボストン大学大学院ジャーナリズム科卒
ランコインターナショナル社長



DENTAL
SPACE

三上歯科 クリニック

大阪府枚方市東香里元町13-10

院長 三上 淑子

東香里病院歯科部長 三上 豊

有病者の歯科治療にそなえ、
設備も万全に。
患者さんの身になって
考えました。

枚方市は大阪と京都のほぼ中間地に位置する衛生都市の1つ。三上歯科クリニックは、その丘陵地的高级住宅街を走るバス停の前にある。道路の向い側はお父様の経営される総合病院東香里病院。今年4月迄は、その病院内にある歯科室でご夫妻共々診療されていたが、手狭となり奥様のみ独立。従って患者さんも、症状、診療日により内科、外科はもとより、精神・神経科の入院者も来院されるようで、技術はむろんのこと、体力的にもかなりハードな治療を要求されると共に、その需要に込えている医院である。今回は取材ということで、病院からご主人の三上歯科部長も加わって頂き、ごいっしょにお話をお聞きし

ました。

左右30m位はあるかと思われる間口の広い建物の1階は駐車場と管理事務室、2階が診療所、3階は病院の看護婦寮に使用されている。

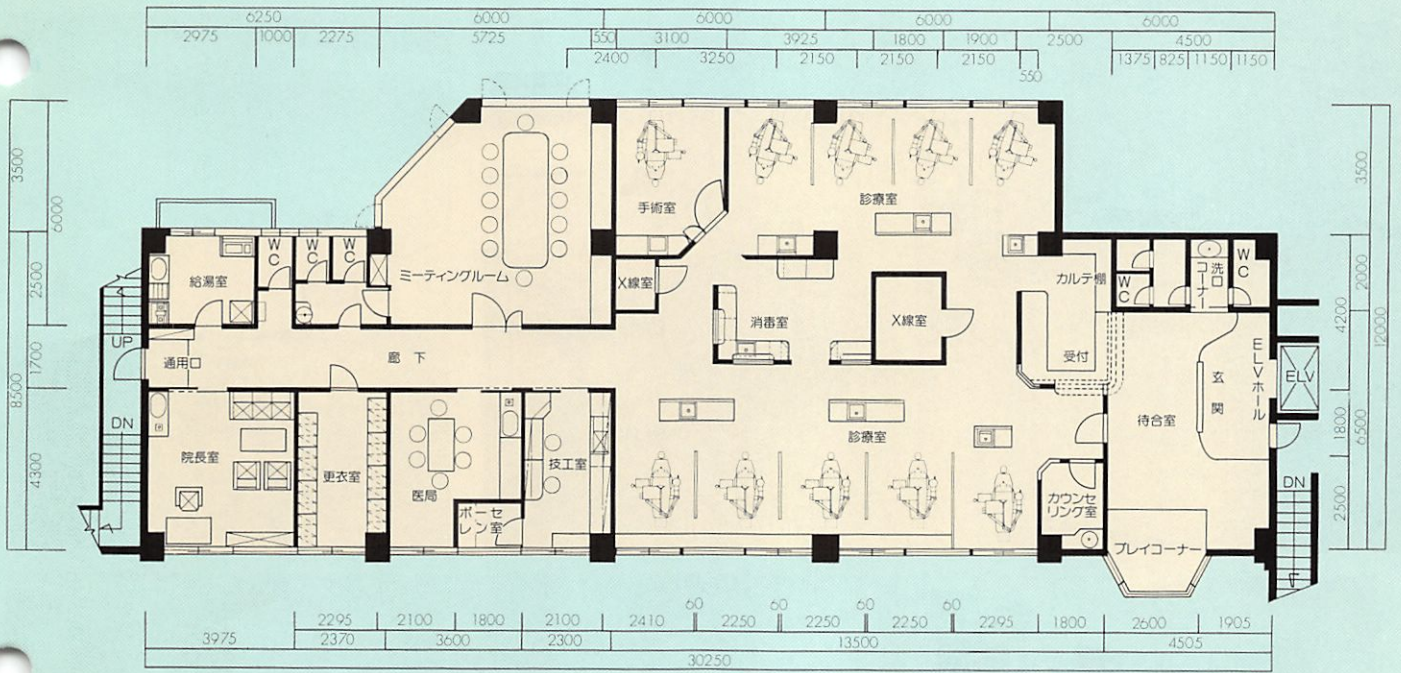
ゆったりとスペースを取った玄関ホールから歯科専用エレベーターに乗り診療室へ。エレベーターを降りると広々と明るい室内の床には薄茶のジュータンが、出窓側の一角は段差をつけ緑のジュータンが敷かれ、子供やお年寄りの為の待合コーナーとなっている。受付は曲線のオープンスタイル。背面のコンピューターに向かって、女性が熱心にキーボードを打っていた。

診療室内は奥の院長室、医局、技工室に続く中央に通路を取り、それに沿ってX線室、消毒室を設置。両窓に並ぶ計10台のスマイリーNを2つに分けている。間仕切り、天井、壁は白であるが、大きな窓の前面にロール式の花柄カーテンが、白一色で、ともしれば冷たい雰囲気になりがちな室内を、柔らかさと、女性院長らしいやさしさを印象づけている。

広さ、明るさ、動線、環境、どれをとっても申し分のない歯科医院である。

院長ご夫妻は共に岐阜歯科大(現 朝日大学歯学部)の第2期生。卒業後院長である淑子先生は大阪医大の口腔外科、茨木市警察病院、枚方市民病院と、主として公的病院で3年間勤務医生活を経験した後、ご実家の総合病院歯科室に。

夫である豊先生は卒業後、大阪歯科大の口腔外科室に勤務。今年3月まで助手として研究、臨床に携わって来られたという、ご夫婦揃っての実力派である。



院長：三上淑子先生と東香里病院歯科部長の三上豊先生

- 設計・施工：柳原建築事務所 ■ 開業：平成3年4月
- スペース：323㎡(約98坪) ■ ユニット：スマイリーN10台
- 診療時間：9:30～11:30(月～土) ● 14:00～16:30(月、火、水、金)
- 17:30～19:00(火、水、金) ● (休日)日曜、祝日、土・木曜半日
- スタッフ構成：歯科医師5名、衛生士5名、受付・助手3名、技工士2名
- 患者数：1日約80名

お二人の性格を反映してか、スタッフの皆さんの応待も丁寧で明るく気持ち良い。

Q：素晴らしい診療室ですね。どんなところにご留意を。受付から順次お話しして頂けますか？

豊先生：建坪は約98坪。横に長い土地に無駄のない建物をと、配置はほとんど私が考えました。受付はホテルのカウンターのようにオープンな感じをイメージに。診療室内は中央に消毒コーナーを持って来て、左右どちらのユニットからもスタッフ同士の動線を気にすることなく出入り出来、かつ使いやすいように、と考えました。また、レントゲン室も2つ設置し、患者さんが室内を動き回らなくて良いようにしました。間仕切りは、閉鎖的なイメージを与えないで、しかしプライバシーは完全に守られるように低めにしました。若くして入れ歯になられた人は、私

達が思う以上に周囲を気にするものだから。

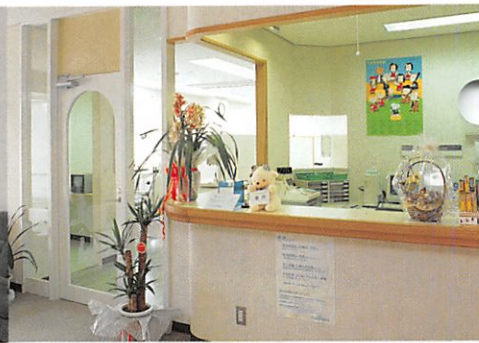
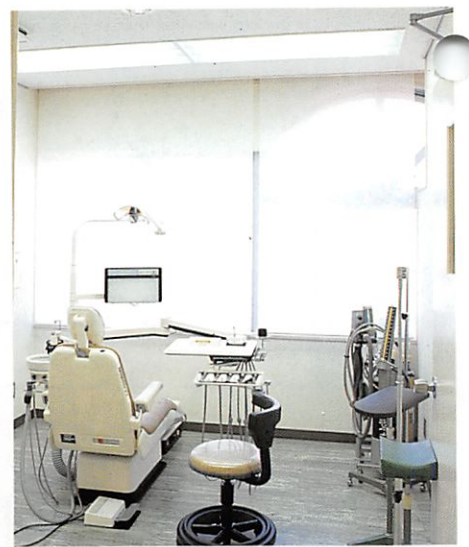
淑子先生：この人は、こういった設計関係の仕事が好きですし、それだからよく知っておりまして…。私は助かりましたが(笑)。模型を作って連日研究しておりました。スタッフ室、ミーティング室とも広めにとれ、私は満足しております(笑)。

豊先生：ミーティングルームは、時には、患者さんとの話し合いも出来るようにと。また、以前のブラッシングコーナーが狭かったので、衛生士が顕微鏡とテレビを使って患者さんと口腔状態の話を充分出来るように、診療室の一角に専用カウンセリングコーナーを設置しました。4月に開業したばかりで、まだ十分に活用されておられません、これからの歯科医院には大切な室になって行くのではないでしょうか。

Q：心身障害者の患者さんも？

淑子先生：実家の病院には精神科の患者さんも入院しておりますが、その方達を歯科医院に連れていくのは、特に看護婦さんが大変な思いをしておりました。私が卒業後、歯科室を作り治療していましたが、初めは難しかったですね。他の方達にチヨッカイを出したり、自分でもどうして良いかわからなかったですね。でも父が精神科医でしたので、色々細かいことを教わったり…ずいぶん鍛えられました(笑)。





Q：その他の入院患者さんも多いのですか？

豊先生：322床ありますので、その入院患者さんやその関係者の方達も結構来院されますね。他に疾患を持つ患者さんも多い為、それだけの設備を整えるのは大変でしたが、徹底した手術も可能のように作りあげたつもりです。でも財政面では大変ですよ(笑)。

淑子先生：患者数は、いま平均1日50名。フルタイムの日には80名位です。スタッフは医師5名、衛生士5名、受付・助手3名、技工士2名の総勢15名ですので、もう少し多く診れると思いますが…。主人は大学に長くいたので、治療ペースがゆっくり過ぎる。主人に云わせると、私の治療は荒いと(笑)。しかし、まだオープンしたばかりですし、私は今まで子育てに時間を取られましたので。何しろ、10才を頭に7人の子供がおりますから、朝夕は戦争ですよ(笑)。主人は怒るのが任務みたいで済みますが(笑)。

Q：1人を除いてご兄弟が揃って医者との



事。歯科医を志されたのは？

淑子先生：高校3年生の時、それまで病院に勤めて戴いていた歯科の先生がやめましたので、親からどうしても歯科医が必要と…。女は私か一人ですが、本当は医者になりたかったですね。今度生まれる時は、絶対男に生まれたいですね。だって子育てもなく、思い切り自分の仕事ができるんですもの(笑)。

Q：夫婦で同業、同職場で働くメリットとデメリットは？

豊先生：メリットは、お互いに時間をやりくりして、協力し合えるということ。デメリットはその反対、二人揃って休むことが出来ないで、家族全員で出掛けられないということですね。落ち着いたら、私はまた大学にもどって勉強したいと思っています。

Q：スタッフ教育は？

豊先生：私達は、これという特別なことはしていませんが、それぞれの「長」が毎朝みだしなみや細かい注意をしております。外部の研究会等にはなるべく出席させて、レポートを提出、全員の前で発表する勉強会を行っております。

淑子先生：それぞれが自覚を持って働いてくれますので…。昼食後も終わるとすぐ午後の為に掃除や消毒を始めて…。私の方が落ち着かなくて(笑)…。良くやってくれています。

Q：スマイリーN、使用感はいかがですか？



豊先生：オサダという会社は値引きはしないけれど、アフターケアがしっかりしていますね。製品に自信を持っているメーカーはどの業界でもそうですし、私達も安心していられます。その点を買いました。

金子先生：他のメーカーも見ましたが、やっぱり、故障が少なくアフターが良いメーカーが一番ですから…。スマイリーNは高齢者や車椅子使用者の方達が安心して座れるユニットチェアでしたので選びました。

〈設計・施工の立場から〉

医院及び病院は、その地域社会の中に入り込んで住民と深くかかわって行くのが必然だと思います。そのような意味から、建物の外観をデザインするにあたっては、清潔感のある、また親しみのある建物を作るように心がけました。

この建物は1階が店舗、2階が歯科クリニ

ック、3階が寮室という複合ビルになっており、それぞれ違った目的、用途を持つ空間を違和感なく一つにまとめるのに苦労しました。

1、2階部分は白に近いうすいグレーの金属パネルで清潔感を、3階及び階段部分は耐火レンガ調のタイル貼で親しみのある肌合いを表現しました。

歯科のプランは待合、診療、スタッフルームの3つに大別されます。診療部は中央に準備室、レントゲン室を置き、それをささむように診療台を5台つづ計10台を配置したプランとなっています。

プランの決定までに歯科の先生と直接打合せの時間が充分取れなかったのですが、長田電機工業の方々をはじめ、歯科内装関係の人達の努力のお蔭で、先生の意図するプランが出来上ったと思います。

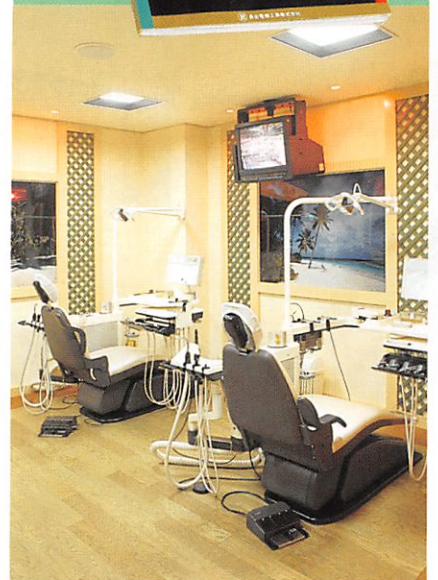
後日、この点が良かったとか、ここはこうの方が良かったのではないかな等の意見を聞かせてもらえれば有り難いと思っています。

柳原建築事務所 柳原達也

新築・改築・増築
のすべてがわかる

歯科医院 開業ガイド

定価10,300円(本体10,000円)



〈主な項目〉

- 歯科医院のセクション別実例
- 歯科医院のレイアウトのチェックリストと基本事項
- 歯科医院のレイアウト実例
- これから開業される先生方へ—オサダからのアドバイス
- 開業と税金の知識

〈別冊付録〉

歯科医院に必要な
設備機器、器具、材料リスト

※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。
長田電機工業株/顧客センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎ 03(3492)7651(代)



DENTAL SPACE

かじ歯科医院

札幌市東区北8条東1丁目
郵政弘済会ビル2F

院長 梶 千鶴子

**コンパクトで、
待合室に入った時から
話が始まるオープンな
診療室に仕上げました。**

札幌駅北口から数分。付近は数階建てのオフィスや官庁・会館等が点在するビジネス街。ご紹介の「かじ歯科医院」も広い道路に面した郵政弘済会ビルの2階にある。横長の診療室は道路から一目でわかると共に、隅々まで明るい日射しがいっぱいに入り気持が良い。患者さんにとっても、歯さえ痛くなかったらさぞ快適な院内であろう。

待合室は、茶、グレー、ブルーが混じる砂目状の床に緑の椅子が3〜4脚。同色同材の床に2段ほどの段差をつけて、そのまま診療

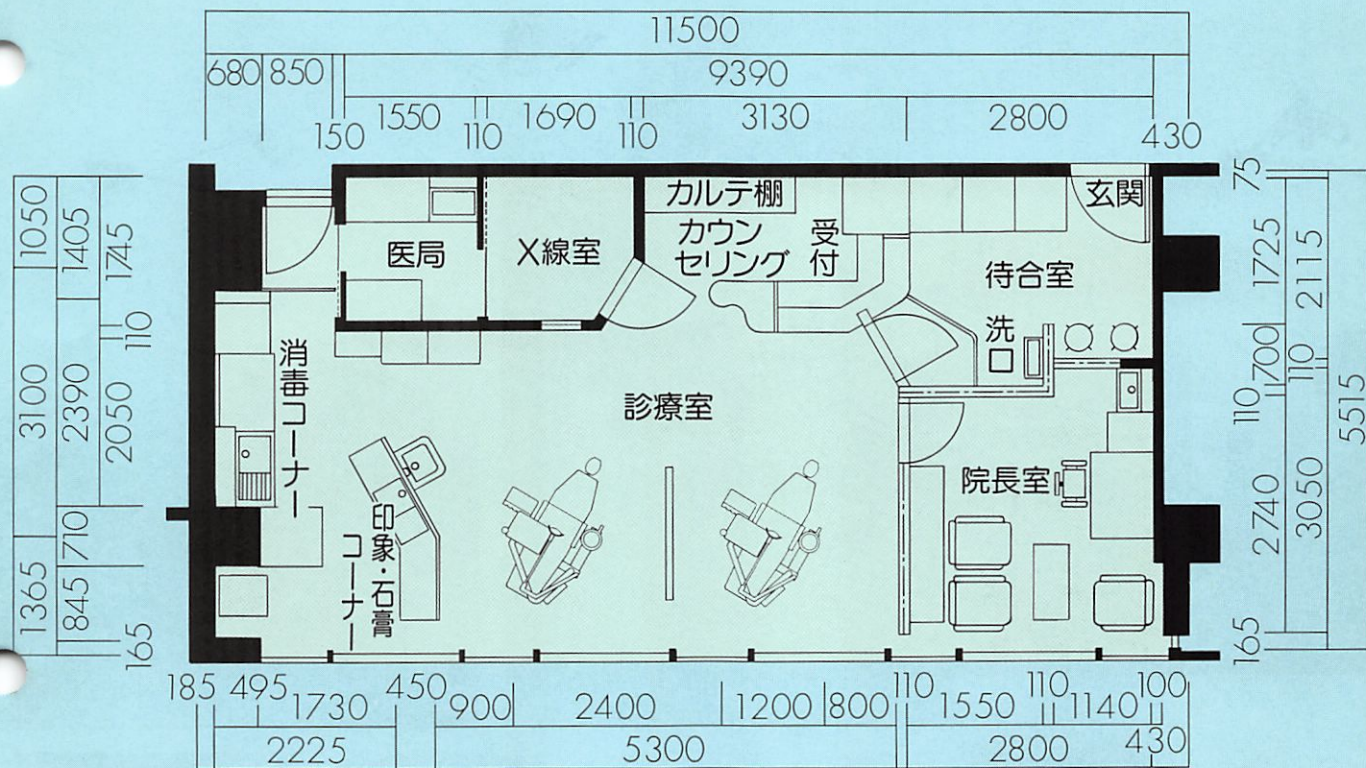
室へ。何段目で靴を抜いたら良いかと戸惑うが、院長のお話によると、初めは靴をはいたまま診療室へ入ってもらう予定だったが、患者さんからスリッパを欲しいとの要望があり、今は自由にしていますとのこと。都会地での開業は欧米なみの感覚になっていくのであろう。

窓に沿ってライトブルーとシルバーのツートンカラーのスマイリーGMが簡易間仕切りを隔てて2台並ぶ。X線室、消毒、印象コーナーと限られたスペースゆえ、ゆったりとは

いかないが、院長のおっしゃるように、室内全体がオープンな感じで明るく仕上がっている。

スタッフも衛生士1名とパート1名の計3名だが、お互いに友達同士のような感覚で、共に医院を盛り立てていこうという気持ちが当方にも伝わって来る。院長にとっても力強い味方であると同時に、患者さんにとっても心なごむ雰囲気でも痛さも半減することであろう。

院長は北大の第5期生。卒後は補綴学第2講座内山教授のもとで約2年間研修生活を。その後教授の紹介で北海道郵政局の医務室で10年余り臨床医生活を送る。昨年12月、ビル名でもおわかりのように、そうした関係から当ビルが完成したのを機に開業に踏み切られた。なお、ご主人は同じ北大5期生で、以



- 設計：施工：丸七氏家建設株式会社 ■ 開業：平成2年12月
- スペース：63.2㎡(約18.5坪) ■ ユニット：スマイリーGM2台
- 診療時間：8:30～17:30 ● 土曜日 8:30～14:00
- (休日)日曜・祝日
- スタッフ構成：歯科医師1名 ● 衛生士1名 ● パート1名
- 患者数：1日約10名



院長：梶 千鶴子先生

歯科医長を務める梶 睦氏。お互いに場所・環境は違っても豊富な経験を持つベテランのおしどり夫婦である。

Q：豊富な経験を積まれてのご開業。ご開業された動機は？

院長：別に勤務医であることに不満はなかったんですが、郵政省自体が医務室を縮小するという話が持ち上がったものですから…。多少不安はありましたが思い切って開業に踏み切りました。この辺は歯科医院も多く、その上人口も少ないので決して適した場所ではないんですが、自宅も近いし、子供もおりますので開業しました。

Q：経営面ではどうですか？

院長：何とかやっていると、というところで

はないでしょうか(笑)。その点主人がいると助かります。これがもし一家を背負って、ということになりますと無理でしょうけど…。

Q：患者層は？

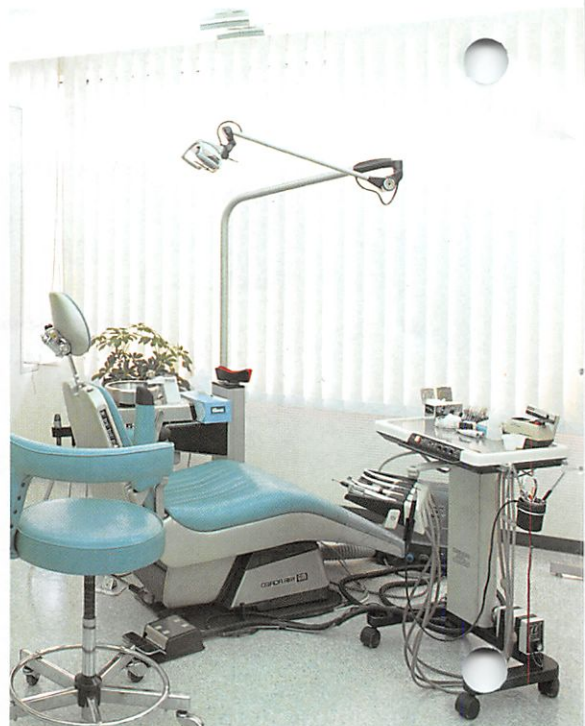
院長：女医でするので、初めは子供さんやお年寄りの方が来られるのはと、ちょっと心配しましたが…。ええ今までほとんど経験がありませんでしたので…。でも場所柄と勤務医時代の患者さんがほとんどで、これからはわかりませんが、大人だけの診療で、以前と変わらずホッとしています(笑)。

Q：ご主人の協力度は？ 共に開業を、と考えませんでしたか？

院長：いいえ全く。主人は今の職場、治療内容が面白いので離れたくないと前から云

っていました…。ただ、いざという時にそうした難症例を専門にやられている病院の皆さんがシバクにいると思うと心強いですし、開業にあたっては色々アドバイスをして頂けて助かりました。





Q：女医という職業観については？

院長：体力的にはハードな面を要求されることもありますが、患者さんにとっては女性の方が構えなくて済む場合が多いのではないかと思います。若い時はともかく、年をとると(笑)、患者さんも母親的なイメージを持つらしく、虚勢を張らず自身の弱みを平気でみせてくれますから…。偉そうに見えないところが一つの良いところではないかしら(笑)。また選択の幅も勤務医、独立とありますし、子供を持っても自分のペースで仕事ができますから…。自分の人生がいつまでも社会と関わりを持って生きることが好きな人には良い職業だと思います。もっとも男になったことがないですからネー(笑)。

Q：勤務医時代と最も違う点は？

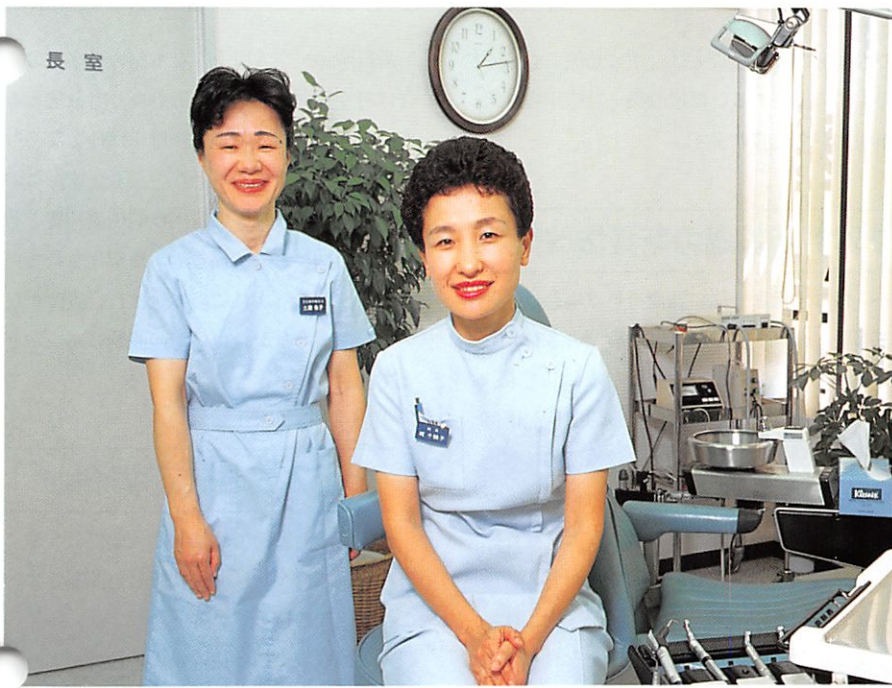
院長：そうですねー。勤務医時代は患者多い

と気が重く、少ないとうれしかった(笑)。今は全く逆ですが(笑)…。私の場合は恵まれて、勤務医時代にコンビを組んだ衛生士さんが来てくれて、細かい仕事は総てやってくれますので、全く同じ内容で続けることが出来ました。彼女のお蔭と感謝しております。それと患者さんの手応えですね。勤務医時代はただ治療するだけでしたが、今当院に来られる方は必ず何らかのつながり、背景を持たれて来院される訳ですから、その方達とコミュニケーションをはかることが大切ですし、たのしいですね。それが違う

ところですよ。

Q：診療室を作られるにあたってご留意された点は？

院長：コンパクトで皆さんそうでしょうが、明るい診療室ですね。限られたスペースですので、院長室以外はワンルームの感じで、患者さんが待合室に入って来た時から、その様子を診療室で掴みたい——例えば、今日は急いでいるのか、痛くはないか、付添いの人は等、一人一人皆違うでしょ。それが診療中でも話しかけたり、掴むことが出来る診療室にしたい、そう考え作りました。院長室は他に比べちょっと大きいのですが、これは保育園に行っている子供が早く帰って来た場合、ここで遊ばせておくことを考えたので…。近くに主人の両親がおり、な場合はいつでも面倒をみてもらえます



が、やはり長い間には何が起こるかわかりませんから、ちょっと広めにし、区切らせてもらいました。

Q：オサダのユニットいかがですか？

院長：女性——特に私の場合かな(笑)。機械に強くないんですね。機械ですのていつかはこわれますが、それをどれだけ早く来てキッチンとメンテナンスをしてくれるのか。それが最も良いとの評判でオサダを選びました。今は全くトラブルもなく使わせてもらっております。

Q：お友達、知人にコメントを…。

院長：たぶん同期生では私が最も遅い開業でしょうね。開業にあたって皆さん色々アドバイスを有り難うございました。大変ですが何とか元気でやっておりますから…。皆さんもどうぞお身体を大切に頑張ってください。

〈設計・施工の立場から〉

63,2㎡のスペースに診療台を最初2台、将来3台に増やせる間取りが先生のご希望でした。普通平面計画は、使用する機器類、診療方法をお聞きして考えますが、今回は先生が今までの経験を生かして、こまかい所まですべて考えておられ、当方は建物との納まりのための寸法を考えれば良いだけでした。

冷暖房は天井埋込型のものがビルの施設としてありましたが、歯科医院部分が駐車場の上に位置することから、冬期間足もとが冷えないためと、床下配管の凍結防止の目的で、融雪電力を使用する床暖房を施工しました。

また先生のご意見で、レントゲン室と暗室兼ロッカールーム以外の壁は上部を開放にし、印象コーナーのキャビネットを1.6mの高さにおさえたのは、冷暖房の熱効率のためだけでなく、部屋の狭さを感じさせないためにも役立っているようです。

資金計画から積極投資
までの経営がわかる

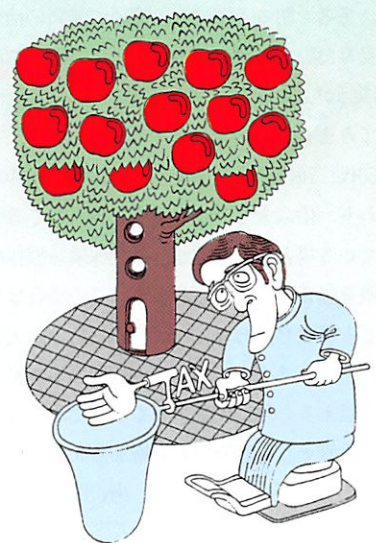
歯科医院 経営 マニュアル

定価6,180円(本体6,000円)

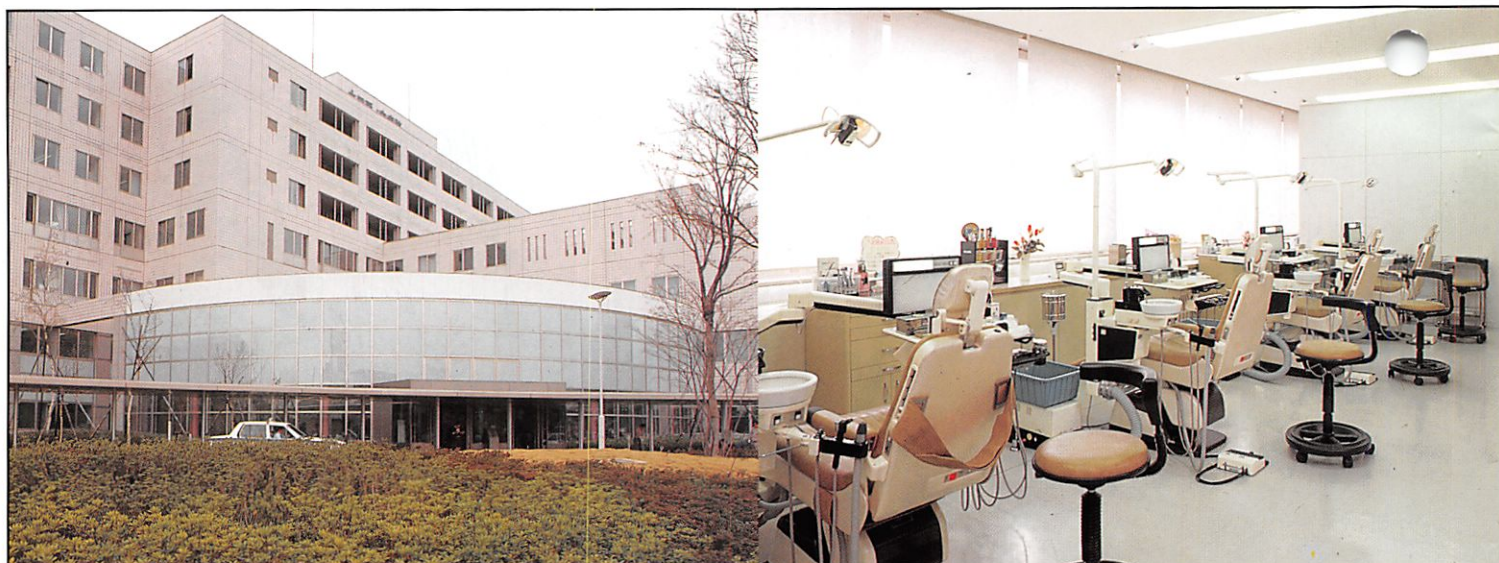


〈主な項目〉

- 開業準備の留意点
- 開業準備計画書／開業収支・資金計画書
- 歯科医の節税戦略(青色申告・特別経費・専従者給与・みなし法人・損益通算・特別償却・MS法人・医療法人)
- 財テク・税テク 他



※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。
長田電機工業(株)/顧客センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎ 03 (3492) 7651 (代)



トピックス

財団法人 太田総合病院付属

太田西ノ内病院〈歯科〉

太田総合病院は、五つの病院、分院、診療所、更には看護専門学校、リハビリセンター等、ベット数も2000床を超えるおそらく東北一とも云える大病院である。ご紹介の太田西ノ内病院はそのセンターとして1000床を有し、27科目に、大学並みの最新設備をととのえ、地域住民のために奉仕されている。

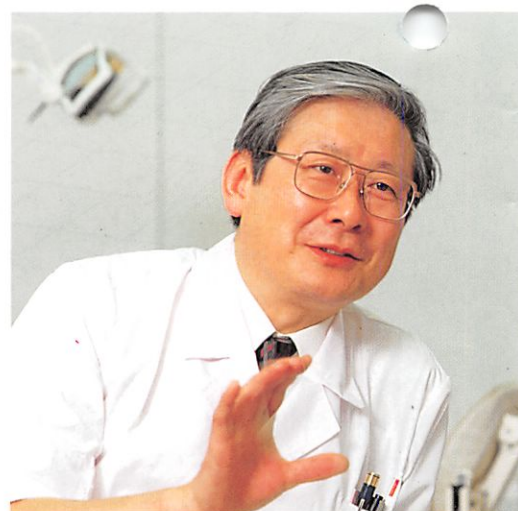
円形ホール状の中央受付・待合室からエスカレーターに乗り、2階部に設置された歯科室へ。窓側に沿ってスマイリー〈GM〉が5台並ぶ。スタッフおよそ20名。とかく大病院は勤務意識が強いいためか、ソツはないが事務的な応待が多いが、ここのスタッフはこまやかで丁寧、非常に感じが良い。責任者のお人柄がわかるようだ。

その責任者であり、副院長兼歯科部長の藤田先生から、こうした大病院の持つ歯科の特徴、実情、スタッフ教育等、ご自身の歩まれた道を含めながら、今後の歯科医療の在り方をザックバラに語って頂いた。

なお、部長は東京医科歯科大学を卒業後、東北大学医学部に再び入学。医学部を卒業後、東京警察病院で形成外科を研修した後、弘前大学で口腔外科医として2年を過ごす。昭和48年に東北大学歯学部口腔外科に移り、

研究生生活、助教授となったが、請われて当病院に2年前に赴任されたという実力派である。が、お会いした先生、勉強一筋の俊才とは思えぬほど大らかで明るい雰囲気を持つ方。先述のスタッフの応待の良さがうなづける。——患者層は？

「主にこの入院患者と外来患者、一般開業の先生方からの紹介患者、職員及びその家族、付近の住民などです。私の希望は、顔には眼科、耳鼻咽喉科など分かれておりますが、口科はありません。ですから口全体を診る口腔科というものがあってもよいと思うし、そうした目で歯科を進めて行きたいと思っております」。「当院の歯科には8人のドクターがおりますが、入局と同時にまず6ヵ月間、麻酔科に行ってもらい、あらゆる手術に麻酔医として立ち合いながら、他科の医師と話し合いの場を持ち、全身疾患の勉強をしてもらいます。と同時に他科の手術を見て視野を広めてもらいます。当科には全身疾患を有する患者が多く来られることから、歯科の治療中に何か起こるかわかりません。そうした場合、その専門医と相談し処置を施すことが大切なのです。しかし自分達も全身管理の知識がなければなりません。総合病院ですと他科の先

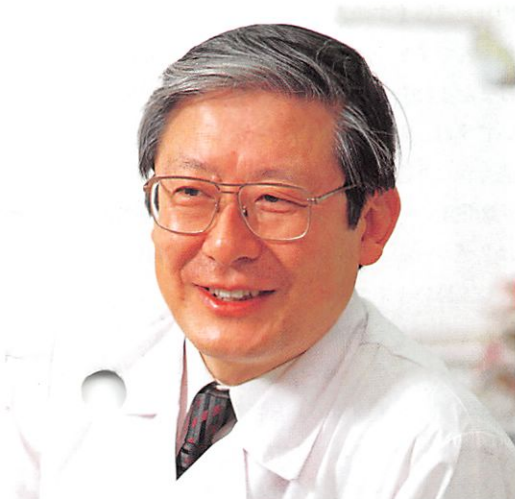


生達とも互いに顔見知りであり、意志の疎通がありますので大事にならずに済むことがいいとは思いますが…。「当病院は地域のセンター的な役割を担っておりますから、スタッフを揃えると共に、付近の開業医の方々が安心して紹介出来る病院として今後もやっていきたいと思っております」。医科、歯科と両方を勉強されて来られて…。歯科に対しての感想は「医科より歯科の方が怖いですよ(笑)。長寿社会を迎えると、他に疾患を持った患者さんがどんどん来ますね。その方達の歯を機械を使ってガリガリと削るんですから…。歩いて来られた患者さんを寝かせて帰すわけにはいきませんからね、といてやらない訳にもいきませんし(笑)。怖いですよ。私が総合病院を出られず、一人で開業出来ないのはそんな訳があるんです(笑)。医療の奥深さ—歯科医療の難しさ、本当の怖さを知っている、



身体全体から診る歯科医師が 総合病院の役目だと考えます。

副院長 藤田 靖



だけが云える言葉である。「私の専門は唇顎口蓋裂ですが、口腔ガン、骨腫瘍等の患者さんも来院されますので、口腔外科の病棟として10床揃えてあります。その他4才以下の子供さんは小児病棟に入院していただきますが、術後は何が起るかわかりませんので、当番制で担当医を決め、その医師は常にポケットベルを持ち緊急の場合にそなえております」。また、こうも云われる。「全身疾患を有する患者の抜歯の際、若いドクターはその許可を内科や外科の先生に頼みますが、私に云わせればこれはおかしいですよ。悪くれば万一場合の責任逃れとも云えますし。歯科に関

しては歯科医がリードするべきだと思うのです。お互いに協力し合って、患者の状態を対等に話しをする。この姿勢が大切ですね。ただ、現在の日本の大学教育ではそうしたことをトレーニングする場がないんですね。残念ながら…」。

—多勢のスタッフがおられますが、そうした方々の経費面は？

「スタッフの多くは太田記念病院も兼務しておりますので、決して多くはないんですよ。しかし、やはりその良否は別にして、各科の収入は問題になると思います。ですから受付は4時30分迄ですが、どうしても終るのは6時過ぎになることが多いです。時々不満も出ますが一生懸命やれば、たとえそれで収入が上がらなくてもそれは仕方ないと思います。われわれの責任ではありません。一生懸命やることによって他科とも対等に話すことが出来るし、スタッフ、また機器等の設備も充実させることが出来ると思います。国の補助で運営される大学病院と民間との違いですね」と内状をザックバラに話してくれた。スタッフの教育については「私は別にこれと云ってやっている訳ではありませんが、各々持ち場は違いますが、自分はいま何をやれば

良いのか、1人1人がそうした自覚を持って全力を尽くす。これが大切なのではないかと…。職場は誰だって明るく楽しい方が良いに決まっています。その為には科内においても自覚をしっかり持ってやれば、上・下の差なく対等に話が出る筈ですし、するべきだと思うのです。患者さんとの話にしても、相手も自由に友達のように話し合える雰囲気づくりですね。以前は私は必ず患者さんに、20年のおつき合いをしましょうね、と云いました。今は53才、20年間はネー、とても無理だから云いませんが(笑)」。ご専門の唇裂口蓋裂手術においては、口込みで患者さんも北は北海道、南は静岡方面からも来院されると聞く。総合病院の任務と今後の歯科医の在り方を真剣に考えておられる藤田先生。「昔は大学で、ほぼ完成教育までやっておりましたが、いまはとも出来ませんし、それを卒後研修という形で補おうと云ってはいるものの、研修する場所さえないのが現実です。隣接医学を含め、こうした総合病院で勉強し、少しでも歯科医師が向上し、将来の役に立つこと。地域の住民と開業医の方が近くに当院があることによって、安心していただくことが、こうした病院の役目だと思っています」と結んだ。



三宅歯科医院

岡山県井原市井原町1391

院長 三宅教夫

久津間陸恵さん

久保みどりさん

森下 みかさん

佐藤 仁美さん

福山市より北に向って車でおよそ20分。井原市は周囲を山々に囲まれた人口約39000人の町である。ご紹介の三宅歯科医院は、市中心部より、やや南を走る県道筋に建っている。診療室に続く3階建の建物は、現在は未だそこまでは、と云われるが、岡山大学で口腔外科をご専門に勉強された院長が、将来に備え地域医療にいかなる対応をも出来るよう配慮して建てられたものである。

最初にご登場頂いた久津間さん。学校は岡山歯科衛生士専門学校のご卒業。衛生士としてのキャリアは既に6年目、ベテランの域に近づいている。卒業2年間は市内の医院に勤めておられたが、ご両親のもとから通えるということで、当院に入局。この道に入った動機は「この職業は初めは知らなかったんですが、医療系は好きだったし、看護婦さんは大変だよ、その点歯科衛生士なら夜勤もないしと勧められ学校へ入りました」。現在の心境は？「地味な職業だと思いますが、やりがい

のある仕事ですね。患者さんを指導していく内に、悪かった口腔状態がどんどん良くなっていくでしょ。それがたのしいですね」とこの仕事の魅力を語ってくれた。指導方法は？「まず最初に口腔状態を顕微鏡を通してテレビに映し出し、その状態を説明しながら、自身の口腔内を理解してもらいます。その後は本人の意向に沿って、それをどのように改善して行くかを話し合います。スケーリング、刷牙指導等、院長は私達がやれる範囲は総てまかせてくれますので、やりがいがありますね。そうですね、1日5~6人は楽にやりますよ(笑)」。患者さんの予防についての認識度は岡山市内に比べて——「全体的にはやはり低いと思いますね。特にお年寄りの方はかなり悪い方がいますね。考え考え、ゆっくり話してくれる。少しオットリ型？「自分ではそうは思っていないんですが、周りの人からそう云われます。でも忙しくなるとイライラしてくるんです。自分では悪いところと思っているんですが(笑)」と正直に。当院ということではなくて、この職業をやめたいナーと思う動機は？「地味な仕事で、体力的にきついでしょ。私は結婚する迄は続けたいと思っていますが、その後は体力的に無理だな、と思っていますが…」。

久保さんは福山歯科衛生士専門学校を卒業。学校時代は歯科医院(実習医院)の寮に入り歯科実習をしながら通われた、という努力家。卒業後3年間程その医院で働いた後当院へ。「やっぱり両親のところから通いたくて(笑)」と話す。志された動機は？「姉が看護婦をやっていますが、すごくしんどい仕事、という話を聞き衛生士学校に変わりました。

で、現在の感想は？「わりと楽な仕事と考えていましたが、違いましたねー(笑)。特に人と接する場合、相手が毎回違うでしょ、気使いますね。もちろんその反面、やりがいと云うか、この仕事の良い面もいっぱい知りましたし…。その点は思った通りの職業だったと感じていますが…。お姉さんと比べてどんなところが違うと思われますか？「仕事の内容が違いますから比べること自体無理かと思うんですが…。やはり看護婦より、衛生士はまだまだちょっと、という見方が強いみたいですね。勤務状態の違いもありますね、待遇もかなり違うように感じますね」とハッキリ衛生士の立場を話してくれた。——結婚後は？「うーん、難しいですね。自分では続けたいと思いますが、わりと夜も遅いでしょう。それを相手(夫)が認めてくれるか？また私の身体を続くか？わからないですねー」。休日？「たとえ両親のもとでも、掃除、洗濯はキチッとやっております(笑)」。本当？。明るい印象。良い奥様になれそうだ。

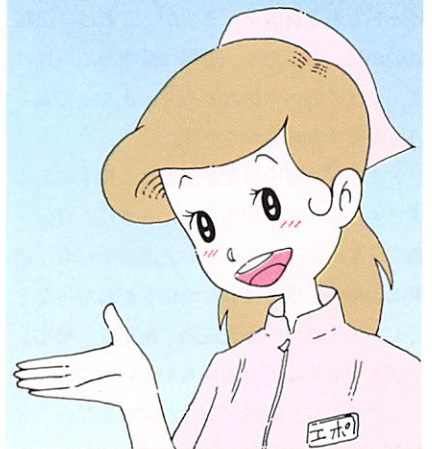
森下さんは当院の院長が講師をされている山陽歯科衛生士専門学校の卒業。実習生として当院で1年、卒業後もそのまま勤め、今年3年目を迎えた笑顔が可愛い、やさしそうな衛生士さんだ。この仕事についての感想は？「当たり前ですが、いろんな人が別々の口腔状態で来院されますから、気疲れする反面、面白くやりがいがある仕事ですね。刷牙指導していて、悪い歯グキがどんどん良くなっていくのを見るとうれしくなっちゃいます」。志された動機は？「自分は小さい時から歯が悪かったので、通院している内に、普通の事務関係の仕事より、どこか違っているこの仕

アシスタント のための 診療室の手引き



定価6,180円
(本体6,000円)

アシスタントとしての心構えから話し方、患者さんへの対応の仕方、会計、消毒、手渡し技術等々をわかりやすく解説。また、簡単な機械のメンテナンスも図付で説明。アシスタントのノウハウを詰め込んだ一冊です。



※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。

長田電機工業株/顧客センター

〒141 東京都品川区西五反田5-17-5

☎03(3492)7651(代)



が面白そうだと、学校に入りました。やめたくなる時はどんな時? 「他の職業につきたいは全く思いませんが、疲れた時失敗が重なると、あーと思いますね。でも私はわりと、疲れた疲れた、と口で云う方ですから(笑)…。今のところは職業はもちろん、当院から他に変わるといことは考えられません。だって家がすぐ近くなんですから(笑)」と現代っ子らしい返事だが、ハッキリしていて気持ちいい。

佐藤さんも森下さんと同じ学校の後輩。今年入局されたばかりのフレッシュギヤルである。「昨年実習生として1年ここに来ていましたので、実質は2年目です。先輩もいるし、皆さんやさしいし、今は毎日失敗ばかりやっていますが、良い医院に勤められたと思っています。——動機は? 「この仕事には全く興味はなかったんですが、人から『やらかいの仕事だよ』と勧められて入りました。そして今は『確かにそうだと思います。人間相手の仕事ですから、まず相手の長所を見つけて誉めること。気が減入っている人には明るく接すること。大変ですが、いまは燃えていますよ(笑)』と頼もしい返事。数年後か楽しみだ。卒業後、他の職業に就かれた人はいなかったんですか? 「おりました。理由は、やっぱり給料と休日が多いと云うことでしようね。でも私は、昔思っていたよりは大変な仕事だとは思いますが、当院ではスケールングや指導のみの患者さんも来られるし、私達にとっては良い医院。面白いし、今は精一杯やってみたくと思います。今年4月入局されたばかりとは思えない返事である。

近年、衛生士が足りないという医院が多い

中で、当院の女性は総て衛生士という恵まれた環境である。



院長 三宅 教夫

〈院長から一言〉

開業8年目になりますが、最初から女性は衛生士のみで、確かに恵まれておりますね。スタッフに云うことは、やはり医院内の和と雰囲気づくりですね。それが必ず患者さんにも伝わりますね。患者サイドとドクターサイド、その双方の立場に立って共に治療していく姿勢、心構えが大切なのではないでしょうか。私も仕事面では厳しいですが、仕事を離れば友達でもあり、良き相談相手でもあるよう心がけております。教育として特にやってはおりませんが、上の人に云えば下に教えて行きますし、それが順次続いていくのです。もちろん私も気をつけていますが、出来る範囲は総てまかせることが、歯科衛生士のライセンスをもっているという誇りにもつながるのではないのでしょうか。90点はあげられますし、良いスタッフに恵まれたと思っています。

オサダの商品
〈お元気ですか〉

小橋歯科医院

苫小牧市明野8-154

院長 小橋直行



樽前山麓の森林資源と苫小牧川の清流が合致し、わが国第一の紙の生産地として発達した苫小牧市。ご紹介の小橋歯科医院は、市の東、広い国道に面した新興住宅、各種サービスショップが建ち並ぶ道筋にある。郊外医院らしく、前面に広い駐車場、白いタイル貼りの建物の高部には赤で「小橋歯科」の名が、一目でわかるように表示されている。院内もゆったりと広目に作られ、働らきやすそうな医院である。入ってすぐ目を引くのは、L型に作られた真っ赤な受付台。昔は、赤は血を連想することから医院では避けられていたが、近頃はカラフルでたのしい印象を与える色彩が医院といえども大切とのことで、設備機器共、色の種類にはこだわらない医院が増えてきた。院長は今年66才。建物は10年前に作られたといわれるから、時代の先取り感覚は突出したものを持っておいでなのであろう。

「以前、日本経済はなべ底と同じ。底が浅いし、歯科といえども例外ではないと云われ、それ等を確かめるために、しょっちゅう外国に行っていたんです。でもそれは各国を歩いている内に間違いだと気づいたんです。やはりマスコミその他で得る情報より、自分の目で世界の歯科を考え、確かめることが何より大切ですね」。北海道という広い大地に住まわれているためか、発想も目的もゆったりと大きい。

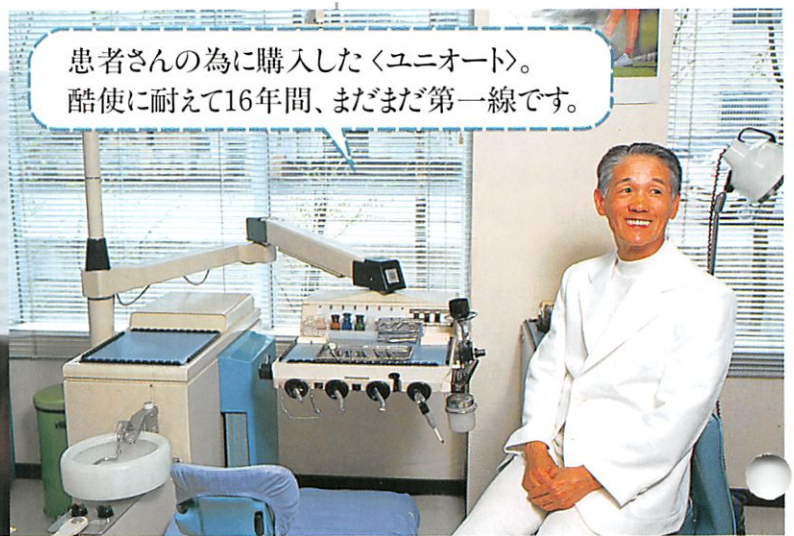
ご開業は昭和27年。当市から34~5キロ行った門別町で、30年余り開院されていたが、10年前に当市へ引っ越され再開業。「開業から10年余りはものすごい患者数で…。朝6時か

ら診療を開始して、終わるのは翌日の2時です。平均睡眠時間は2時間でした。若かったし、丈夫でしたからやれたんですが、何しろ自分達が寝る室まで患者さんに占拠されて、終るに終れないんですよ。抜歯も室内にグルリと患者さんを座らせて、端から全員に注射をし、そして次々と抜いてゆくんですから。今思っても、よく生きていたナーと(笑)」。そうしたご経験が名人芸とも云えるまでに上達させたのであろう。過日ある患者さんの抜歯をしたが、患者は、先生はまだ抜いてくれない、と抜いたのに最後まで納得してくれないんですよ、と笑われる。「私には難抜歯という言葉はないんですよ。どんな職業でもそうでしょうが、自分に云い聞かせるのです。俺は抜歯の名人だって…(笑)。もちろん昔は見えて聞いて、云い方は悪いのですが、方法を盗みました。またそれ等の話しも決して鶴呑みにしないで、俺ならこうする、その方法に何かをプラスすればもっと良い方法があるのでは、という気持ちで常に持ち学んだような気がします。若い方達もただ教わるより、そうした心、気持を持って勉強して欲しいですね」。

現在は土曜日半日のみ診療。他の日は娘さんである美智代さんが勤務医の先生と共に診療されているようだ。「世代交代は必ず来ますし、その場合、いつまでも自分が第一線でやっていますと、万一の場合、患者さんを含めた院内のショックが大きいので、自分が出

る間に交代しておいた方が良からうと…。でも診療日は1人で30人も診ているんです(笑)」。「長い間診療されてきて、ご自身の診療方針は「都会地と違って、田舎では、あの先生は理由はともあれダメだ、と思わせたら、もう村中の評判となり、再起は不可能に近いですね。私の場合は、ちょっと偏屈でつつきは悪いが(笑)、ウソをつかない、と云われましてね。口腔内にはあらゆる病気の症状が表れます。尋ねられても適当な返事をせずに、わからないものはわからないとハッキリ云うことです。今では考えられないでしょうが、昔はお産の人や、事故で骨を折った人までも雪中で病院が遠いことから、ちょっと応急をと来ましたので大変でしたよ。その他白血病や悪性腫瘍等、開業医レベルでは難しい患者も来院します。提携病院を持つと共に、くれぐれも適当なことを云わないこと。それが私の方針だったとでも云えましょうか」。

スマイリーGMと並んで16年前にお買！頂いたユニオート2300が2台。新品同様のきれいさで置かれている。「この機械をみたら、とにかく機能も形も素晴らしかったし、タービンの切れも良く、これからの時代はこれだと、すぐ入れました。長い間世話になった患者さんに座ってもらいたかったのが理由の第一ですね。まだまだ先に云いましたように、患者さんが多く酷使していますが、全く支障はきたしておりません。16年過ぎましたか？早いものですね(笑)。歯科機械も昔から比べたら格段の進歩がありますが、今後は口腔内をモニターテレビで映し出し、それを見ながら根管治療等が出来るよ、私達高齢者には助かるんですかね(笑)」。「物価にスライドして他業種は毎年10%位づつ上がってゆくのに、当界は1%でしょ。これではメーカーの研究開発も含めて、我々がいる歯科業界総てが行き詰まってしまうよ。心をついて、真剣に取り組む時が来ている。心からそう思っています。」と云われる。



型



製造承認番号01B第0296号

スマイルファイン
SMILY Fine



佐藤歯科医院

東京都大田区南雪谷2-14-7

院長 佐藤甫幸

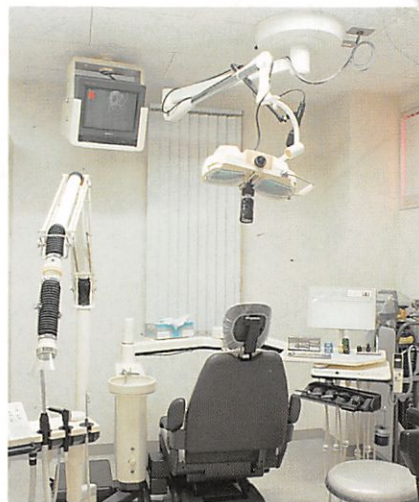
(東京医科歯科大学卒・47才)

日本口腔インプラント学会専務理事

アメリカ歯科インプラント学会正会員

大田区大森歯科医師会前理事

日本口腔インプラント学会正会員委員会前委員長



池上線雪ヶ谷大塚駅より商店街をおよそ150m。院長の義父にあたる遠藤氏がこの地に開業されたのは昭和の初期といわれるから、この辺りでは最も古い歯科医院の一つである。

院長は肩書きでもおわかりのように、日本のインプラント界を代表する名医の一人。ご存知の方も多し、苦である。ご訪問時にも83才のご老人の総義歯をインプラント中。「痛かったら7時までいるから、いつでもいらっしゃいね」と。技術はむろんのこと、安心と信頼が全国から患者さん呼び寄せている。インプラントは何年位大丈夫ですか? 「難しいですね。10〜15年たっても異常なしの方もいるし、手入れが悪ければ2〜3年の方も…。患者さんには後々の指導はキチンとしますが、個々で違いますから云わない方がよいと思います」。インプラントをマスターする年月は? 「これも難しい質問ですね。自身の勉強や方法、ドクターとしての悩み、問題の処理等、インプラントの哲学ともいべきものを

「フライン」型4台設置しましたが、使い勝手も良く、いじりますよ。

掴むまでは個人差もありますが、最低5年は必要ですね。歯科医療界の将来については「保険、過剰等の医政面で頑張ること。歯科医師自身がプロであることを自覚し、学問を含め意識努力する集団であることを国民に理解してもらいたいこと。この2つですね」。この3月迄公衆衛生担当理事として、寝たきり老人訪問診療システム作りに貢献する一方、各種雑誌にも論文を掲載。三面六臂のご活躍である。

壁面に沿って4台のスマイリーフライン型が並ぶ。1台はビデオカメラが取り付けられ、一室には編集装置一式も設置、と本格的である。「以前は他社製品でしたが調子が悪く…。フラインは使い勝手も良く、アフターも万全。良いですよ。」